

令和 6年度 1学年 国語科 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	1学年		くらしに役立つ国語 適宜プリント使用

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解することができる。 ・相手に伝わるように発声や発音、声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・敬語を理解し使うことができる。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意し、丁寧に書くことができる。 ・生活の中で用いられることわざや慣用句などの意味を知り、理解することができる。 (思判表力) ・話し手が伝えたいことやその内容を捉えることができる。 ・相手や目的を意識し、伝えたいことが明確になるように、文章の構成を考えることができる。 (学・人) ・言葉を通じて積極的に人と関わり、言葉をよりよく使おうとすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解している。 ・相手に伝わるように発声や発音、声の大きさに気を付けて話している。 ・敬語を理解し使おうとしている。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意し、丁寧に書いている。 ・生活の中で用いられることわざや慣用句などの意味を知り、理解している。 (思・判・表) ・話し手が伝えたいことやその内容を捉えている。 ・相手や目的を意識し、伝えたいことが明確になるように、文章の構成を考えている。 (主学) ・言葉を通じて積極的に人と関わり、言葉をよりよく使おうとしている。	1 自己紹介をしよう 4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 14 表現力を高めよう 15 あいさつや会話する力を高めよう	・自己紹介 ・電話のマナー、欠席・遅刻の連絡 ・敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語） ・履歴書作成の練習 ・お礼状作成 ・ことわざ、慣用句 ・暑中見舞い
	1	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことを理解することができる。 (学・人) ・生活や学習の広がりに応じて様々な文章や本があることを知り、読書の幅を広げようとするすることができる。	(知・技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことを理解している。 (主学) ・生活や学習の広がりに応じて様々な文章や本があることを知り、読書の幅を広げようとしている。	1 2 本に親しもう	・図書館オリエンテーション
	3	(知及技) ・平和について考え、その考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 (学・人) ・平和に対する自分の思いや考えを表現し、伝えることができる。	(知・技) ・平和について考え、その考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 (主学) ・平和に対する自分の思いや考えを表現し、伝えている。	平和学習 9 調べて発表しよう	・沖縄戦 ・平和や戦争を題材にした作品鑑賞 ・平和への思いを表現した作品制作
	6	(知及技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使うことができる。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めることができる。	(知・技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使っている。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使っている。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使っている。 (思・判・表) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えている。 (主学) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めている。	漢字、言葉の学習 作文	・漢字検定 ・問題集等を活用し、短い文章や身近な言葉の意味を理解する。 ・行事や長期休業後に出来事を振り返り、作文にまとめる。
	4	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表すことができる。 (学・人) ・自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとすることができる。	(知・技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えを持っている。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表せている。 (主学) 自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとしている。	1 2 本に親しもう	・読書感想文

2 学期	16	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解することができる。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ・相手に伝わるように発声や発音、声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意し、丁寧に書くことができる。 (思判表力) ・社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことに注意して聞き、その内容を捉えることができる。 ・相手や目的を意識し、伝えたいことが明確になるように、文章の構成を考えることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解している。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。 ・相手に伝わるように発声や発音、声の大きさに気を付けて話している。 ・日常でよく使われる敬語を理解し使っている。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意し、丁寧に書いている。 (思・判・表) ・社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことに注意して聞き、その内容を捉えている。 ・相手や目的を意識し、伝えたいことが明確になるように、文章の構成を考えている。 (主学) ・言葉がもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。	4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 1 4 表現力を高めよう 1 5 あいさつや会話する力を高めよう	・欠勤、遅刻の連絡 ・社会人の言葉遣い、挨拶 ・履歴書作成 ・お礼状作成 ・年賀状
	8	(知及技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使うことができる。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めることができる。	(知・技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使っている。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使っている。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使っている。 (思・判・表) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えている。 (主学) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めている。	漢字、言葉の学習 作文	・漢字検定 ・問題集等を活用し、短い文章や身近な言葉の意味を理解する。 ・行事や長期休業後に出来事を振り返り、作文にまとめる。
3 学期	6	(知及技) ・親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ・生活の中で使われる言葉の意味を知り、使うことができる。 (学・人) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えを伝え合うことができる。	(知・技) ・親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ・生活の中で使われる言葉の意味を知り、使っている。 (主学) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えを伝え合おうとしている。	沖縄方言に親しもう	・うちなーぐち(身近な単語、あいさつ) ・うちなーぐちかるた
	3	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じて話題を決め、話の中心が明確になるよう構成を考えることができる。 (学・人) ・1年間の学習を振り返ることで、言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解している。 (思・判・表) ・目的に応じて話題を決め、話の中心が明確になるよう構成を考えている。 (主学) ・1年間の学習を振り返ることで、言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めている。	1年間のまとめ	・今年度の学習の振り返り ・国語を通じて学習したこと の発表
	7	(知及技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使うことができる。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めることができる。	(知・技) ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して使っている。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使っている。 ・辞書や事典の使い方などを理解し使っている。 (思・判・表) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えている。 (主学) ・言葉がもつよさを認識し、言葉に対する意識を高めている。	漢字、言葉の学習 作文	・漢字検定 ・問題集等を活用し、短い文章や身近な言葉の意味を理解する。 ・行事や長期休業後に出来事を振り返り、作文にまとめる。
留意点 引継ぎ等		【留意点】 ・学習においては、前回の振り返りを通じて得られた(生徒自身の)評価や知識の積み上げを確認しながら行う。			

令和 6 年度 高等部 2年 国語科 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	2 学年		くらしに役立つ国語 適宜プリント使用

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		社会生活に必要な国語について、言語活動を通して、国語を理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	(知及技) ・話し言葉と書き言葉の違いに気付く、相手を見て話したり聞いたりすることができる。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思判表力) ・話し手の目的やその内容を捉えることができる。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 ・目的に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。 (学・人) ・言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・話し言葉と書き言葉の違いに気付く、相手を見て話したり聞いたりしている。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) ・話し手の目的やその内容を捉えている。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 ・目的に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) ・言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとするために、学習の目的を理解しながら進んで活動に取り組もうとしている。	1 自己紹介をしよう 4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 14 表現力を高めよう 15 あいさつや会話する力を高めよう	・過去の就業体験の振り返りと自己分析 ・就業体験を迎えるにあたっての目標設定 ・履歴書の作成 ・面接、電話対応の練習 ・メモの活用 ・お礼状等の作成 (ビジネスマナー)
	6	(知及技) ・平和について考え、その考えを支える情報と情報との関係付けの仕方を理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じて伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くことができる。 (学・人) ・平和に対する自分の思いや考えを表現しようとするすることができる。	(知・技) ・平和について考え、その考えを支える情報と情報との関係付けの仕方を理解している。 (思・判・表) ・目的に応じて伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書いている。 (主学) ・平和の大切さに気付き、平和に対する自分の考えを表現するために、進んで学習活動に取り組もうとしている。	2 話し合いをしよう 6 インタビューをしよう 7 新聞を作ろう 8 辞書を活用しよう 9 調べて発表しよう	・沖縄戦の歴史を振り返り ・戦争を題材にした作品鑑賞 ・平和への思いを表現した作品制作 ・学校教育における平和学習の振り返り
	6	(知及技) ・日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。 (思判表力) ・互いの立場を理解して、その関係に基づいた話し方で話すことができる。 (学・人) ・敬語の種類を理解し、状況に応じた話し方を判断しようとするすることができる。	(知・技) ・日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。 (思・判・表) ・互いの立場を理解して、その関係に基づいた話し方で話している。 (主学) ・敬語の種類を理解し、状況に応じた話し方を判断できている。	14 表現力を高めよう (敬語の学習)	・敬語 (丁寧語・尊敬語・謙譲語) の復習 ・場面設定に応じた話し合いの実践
	7	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 ・事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表すことができる。 (学・人) ・自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとしたりすることができる。	(知・技) ・幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもてている。 ・事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表している。 (主学) ・自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとしている。	12 本に親しもう	・読書の役割と図書館利用について ・読書感想文の作成

2 学 期	14	(知及技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思判表力) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。 (学・人) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとするために、学習の目的を理解しながら進んで活動に取り組もうとしている。	1 自己紹介をしよう 4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 14 表現力を高めよう 15 あいさつや会話する力を高めよう	・1学期就業体験の振り返りと自己分析 ・就職試験を迎えるにあたっての目標設定 ・履歴書の作成 ・面接、電話対応の練習 ・メモの活用 ・お礼状等の作成（ビジネスマナー）
	7	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人) ・修学旅行を通じて、日常と異なる文化に触れることで沖縄の文化に対して感じたことを表現しようとしている。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を増やせている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主学) ・修学旅行を通じて、日常と異なる文化に触れることで沖縄の文化に対して感じたことを表現しようとしている。	3 遠足の計画を立てよう 9 調べて発表しよう	・沖縄県の文化等の調べ学習 ・修学旅行先の文化等の調べ学習 ・旅行記の作成
3 学 期	6	(知及技) ・親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・作品の内容について、描写を基に捉えることができる。 ・作品を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (学・人) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) ・作品について、描写を基に捉えている。 ・作品を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主学) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えを伝え合おうとしている。	11 百人一首を楽しもう 10 俳句を作ろう	・我が国の言語文化について ・百人一首の体験 ・俳句の創作
	6	(知及技) ・話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。 ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (学・人) ・文章の構成や内容を叙述に基づいて、読み取り、言葉がもつ強さを理解しようとするすることができる。	(知・技) ・話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えている。 (主学) ・文章の構成や内容を叙述に基づいて、読み取り、言葉がもつ強さを理解しようとしている。	12 本に親しもう	・『百羽のつる』の作品読解 ・登場人物の把握と舞台設定の確認 ・登場人物の関係性の読み取り ・登場人物の心情の把握
	4	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・1年間の学習を振り返ることで、得られた知見を表現しようとするすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思・判・表) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・1年間の学習を振り返ることで、得られた知見を表現しようとしている。	1年間のまとめ	・今年度の学習の振り返り ・国語を通じて学習したことの発表
留意点 引継ぎ等		【留意点】 ・学習においては、前回の振り返りを通じて得られた（生徒自身の）評価や知識の積み上げを確認しながら行う。			

令和 6 年度 高等部 3年 国語科 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
70	3 学年		くらしに役立つ国語 適宜プリントを活用

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		社会生活に必要な国語について、言語活動を通して、国語を理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	14	(知及技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思判表力) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。 (学・人) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとするために、学習の目的を理解しながら進んで活動に取り組もうとしている。	1 自己紹介をしよう 4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 1 4 表現力を高めよう 1 5 あいさつや会話する力を高めよう	・過去の就業体験の振り返りと自己分析 ・就職試験を迎えるにあたっての目標設定 ・履歴書の作成 ・面接、電話対応の練習 ・メモの活用 ・お礼状等の作成 (ビジネスマナー)
	4	(知及技) ・平和について考え、その考えを支える情報と情報との関係付けの仕方を理解することができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表すことができる。 (学・人) ・平和に対する自分の思いや考えを表現することができる。	(知・技) ・平和について考え、その考えを支える情報と情報との関係付けの仕方を理解できている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表している。 (主学) ・平和の大切さに気づき、平和に対する自分の考えを表現するために、進んで学習活動に取り組もうとしている。	2 話し合いをしよう 8 辞書を活用しよう 9 調べて発表しよう	・沖縄戦の歴史を振り返り ・戦争を題材にした作品鑑賞
	8	(知及技) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成について理解することができる。 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解することができる。 (思判表力) ・目的を意識して、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つけることができる。 (学・人) ・文章の構成や内容を叙述に基づいて、読み取り、言葉がもつ強さを理解することができる。	(知・技) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成について理解している。 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。 (思・判・表) ・目的を意識して、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つける。 (主学) ・文章の構成や内容を叙述に基づいて、読み取り、言葉がもつ強さを理解している。	9 調べて発表しよう 1 6 資料	・1人暮らしに関連する資料の読み取り (公共料金の支払い・家電の取り扱い説明書など) ・必要な情報の整理の仕方
	8	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 ・事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表すことができる。 (学・人) ・自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとしたりすることができる。	(知・技) ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表) ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えを持てている。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を意識して書き方を工夫している。 (主学) 自分で選んだ本の内容に基づいて、感じたことや考えたことを書こうとしている。	1 2 本に親しもう	・読書の役割と図書館利用について ・読書感想文の作成 ・卒業後の「読書」との関わり方について

2 学期	12	(知及技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思判表力) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考慮することができる。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考慮することができる。 (学・人) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 ・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けながら、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思・判・表) ・社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 ・話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとするために、学習の目的を理解しながら進んで活動に取り組もうとしている。	1 自己紹介をしよう 4 電話を利用しよう 5 手紙を書こう 14 表現力を高めよう 15 あいさつや会話する力を高めよう	・1 学期就職試験の振り返りと自己分析 ・就職試験を迎えるにあたっての目標設定 ・履歴書の作成 ・面接・電話対応の練習 ・メモの活用 ・お礼状等の作成（ビジネスマナー）
	8	(知及技) ・親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (学・人) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えや表現効果を伝え合うことができる。	(知・技) ・親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主学) ・我が国の身近な言語文化に触れ、感じた考えや表現効果を伝え合おうとしている。	11 百人一首を楽しもう 10 俳句を作ろう	・我が国の言語文化について ・百人一首の体験 ・俳句の創作
3 学期	8	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人) ・言葉のもつよさを認識し、互いの立場や意図を明確にしながら、考えを広げたりまとめたりすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を増やせている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主学) ・言葉のもつよさを認識し、互いの立場や意図を明確にしながら、考えを広げたりまとめたりしている。	6 インタビューをしよう 7 新聞を作ろう	・メモの取り方 ・身近な働く人へのインタビュー ・新聞作成
	8	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・これまでの人生や1年間の学習を振り返ることで、得られた知見を表現することができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思・判・表) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとしている。 ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・これまでの人生や1年間の学習を振り返ることで、得られた知見を表現しようとしている。	13 わたしの物語を書こう 1年間のまとめ	・これまでの人生を振り返った「私の本」の制作 ・今年度の学習の振り返り ・国語を通じて学習したことの発表
留意点 引継ぎ等		【留意点】 ・学習においては、前回の振り返りで得られた（生徒自身の）評価や知識の積み上げを確認しながら行う。			

令和 6 年度 1 学年 社会科 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	1 学年		くらしに役立つ 社会

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・地域の困りごとの解決方法を通して、社会の中にある役割や仕組みを知り、自らがよりよい社会をつくる担い手として、課題の解決などを考え、表現することができる。 (思判表力) ・社会のしくみや役割を理解し、課題解決への適切な対応と方法を選択・判断する力を身につけ、表現することができる。 (学・人) ・自らがよりよい社会をつくる担い手として、課題の解決などを考え、学習したことを実生活に生かそうとしている。	(知・技) ・地域の困りごとの解決方法を通して、社会の中にある役割や仕組みを知り、自らがよりよい社会をつくる担い手として、課題の解決などを考え、表現することができる。 (思・判・表) ・社会のしくみや役割を理解し、課題解決への適切な対応と方法を選択・判断する力を身につけ、表現することができる。 (主学) ・自らがよりよい社会をつくる担い手として、課題の解決などを考え、学習したことを実生活に生かそうとしている。	1 社会参加と公共施設の利用 (1) 社会参加と地域での役割	・教科書を通して、地域の困りごとを解決する方法を理解する。 ・実際に地域でおきた困りごとの事例について、教科書で学んだどの解決方法が適切か、根拠を整理しながらグループで話し合う。 ・グループで話し合った解決方法について発表する。その際はその解決方法を選択した理由や根拠をしっかりと示す。 ・各グループの調べた内容を全員で検討、議論、共有する。
	5	(知及技) ・公共施設の役割と利用方法をしり、地域にどのような公共施設があるのかを調べ、快適に生活できるしくみについて理解する。 (思判表力) ・将来の生活を想定し、利用する可能性のある公共施設や利用手続きなどを調べ、公共施設の活用が、快適で便利な生活の向上につながることを考えることができる。 (学・人) ・公共施設を目的によって適切に活用することで、生活が快適で便利になることを実感し、実生活に生かそうとしている。	(知・技) ・公共施設の役割と利用方法をしり、地域にどのような公共施設があるのかを調べ、快適に生活できるしくみについて理解する。 (思・判・表) ・将来の生活を想定し、利用する可能性のある公共施設や利用手続きなどを調べ、公共施設の活用が、快適で便利な生活の向上につながることを考えることができる。 (主学) ・公共施設を目的によって適切に活用することで、生活が快適で便利になることを実感し、実生活に生かそうとしている。	1 社会参加と公共施設の利用 (2) 公共施設の役割と利用の仕方	・教科書を通して、地域の公共施設について理解する。 ・自分の将来の生活を想定し、ライフステージごとに利用しそうな公共施設を予想し、その施設の役割を調べる。 ・調べた内容をグループで共有し、将来、全員が利用しそうな公共施設をグループでまとめてみる。 ・各グループの調べた内容を発表し、全員で検討、議論、共有する。
	4	(知及技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとしている。	沖縄の歴史と平和 (1) 沖縄の歴史・地理	・沖縄の歴史を学ぶにあたって、沖縄に関する基本的な知識、たとえば沖縄の地理的環境、市町村名などの行政区分、方言などを学び、自分たちの郷土に対する認識を深める。 ・沖縄の歴史について、パワーポイントで通史を学習しながら、現在の生活にも感じることができる沖縄の歴史の影響に気づく。 ・沖縄の歴史において、とくに興味深かったテーマをあげ、図書館や端末を活用し、さらに深く掘り下げ、ポスターにまとめる。
	5	(知及技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとしている。	沖縄の歴史と平和 (2) 沖縄戦について	・沖縄戦の概要をパワーポイントなどをつかって学習する。 ・沖縄戦について学ぶにあたって、沖縄の歴史を知った上で、なぜこのような事態になったのかを考える。 ・単に戦争がないことが平和なのか、映像学習などを通して、本当に平和な社会とは何かを考える。 ・自分にできる平和への貢献について考え、ポスターにまとめ、発表する。

2 学 期	5	(知及技) ・社会には「きまり」があることを知り、将来の社会参加に向けて、さまざまな「きまり」が存在する意味を理解している。 (思判表力) ・多様な価値観をもつ人々が安心・安全で生活するために、社会の「きまり」は非常に重要な意味をもつことを考えることができる。 (学・人) ・学校など、自分の属している身近な社会の「きまり」をしっかりと守ることが、将来の快適な社会生活につながっていくことを理解し、実生活で生かそうとしている。	(知・技) ・社会には「きまり」があることを知り、将来の社会参加に向けて、さまざまな「きまり」が存在する意味を理解している。 (思・判・表) ・多様な価値観をもつ人々が安心・安全で生活するために、社会の「きまり」は非常に重要な意味をもつことを考えることができる。 (主学) ・学校など、自分の属している身近な社会の「きまり」をしっかりと守ることが、将来の快適な社会生活につながっていくことを理解し、実生活で生かそうとしている。	1 社会参加ときまり (1) 社会生活ときまり	・教科書を通して、身の回りにある「きまり」を確認した後、ライフステージが変化すると新しい「きまり」が生じてくることを理解する。 ・なぜ「きまり」が必要なのか、「きまり」を守らないとどんな社会になるのかを考える。 ・学校の中の「きまり」について考える。その「きまり」はどうして必要なのか、変えた方がいい「きまり」はあるのかなどグループで議論し、まとめて発表する。 ・「職場でのきまり」についてワークシートを活用して考える。
	4	(知及技) 法律などの「きまり」は誰が、どこで、どのようにして決めているのか、その「しくみ」について理解している。 (思判表力) 国や社会の「きまり」において、我々の生活が守られていることに気づき、その「きまり」に基づいて政治という「しくみ」が運営されていることを理解している。 (学・人) 政治を健全に運営するために「選挙」があり、国民の一人ひとりが、投票をもってその意思を表明できる大切な「しくみ」であることを認識している。	(知・技) 法律などの「きまり」は誰が、どこで、どのようにして決めているのか、その「しくみ」について理解している。 (思・判・表) 国や社会の「きまり」において、我々の生活が守られていることに気づき、その「きまり」に基づいて政治という「しくみ」が運営されていることを理解している。 (主学) 政治を健全に運営するために「選挙」があり、国民の一人ひとりが、投票をもってその意思を表明できる大切な「しくみ」であることを認識している。	1 社会参加ときまり (2) 政治のしくみやほたらき	・教科書を通して、私たちの身の回りにある「きまり」(法律)にどのようなものがあるか考える。 ・国の最高法規が「日本国憲法」であることを知り、その三大原則と三大義務について学ぶ。 ・日本国憲法では「法の下での平等」に基づいて、「すべての人が健康で文化的な最低限度の生活が保障されている」ことをしっかり理解した上で、社会保障制度について調べる。
3 学 期	4	(知及技) 法律などの「きまり」は誰が、どこで、どのようにして決めているのか、その「しくみ」について理解している。 (思判表力) 国や社会の「きまり」において、我々の生活が守られていることに気づき、その「きまり」に基づいて政治という「しくみ」が運営されていることを理解している。 (学・人) 政治を健全に運営するために「選挙」があり、国民の一人ひとりが、投票をもってその意思を表明できる大切な「しくみ」であることを認識している。	(知・技) 法律などの「きまり」は誰が、どこで、どのようにして決めているのか、その「しくみ」について理解している。 (思・判・表) 国や社会の「きまり」において、我々の生活が守られていることに気づき、その「きまり」に基づいて政治という「しくみ」が運営されていることを理解している。 (主学) 政治を健全に運営するために「選挙」があり、国民の一人ひとりが、投票をもってその意思を表明できる大切な「しくみ」であることを認識している。	2 社会参加ときまり (2) 政治のしくみやほたらき	・「障害者差別解消法」(平成28年4月施行)において認められた合理的配慮とは何かを理解する。 ・三権分立を中心に政治のしくみについて考える。 ・選挙のしくみについて考え、特に18歳からの投票権についてしっかり理解させ、選挙民としての自覚をもつよう意識する。 ・生徒会選挙など学校でおこなわれる選挙において、投票するポイントは何なのか、実際の選挙では何を参考に投票すればいいのかを学ぶ。
	4	(知及技) ・「ライフステージ」の表し方や、「地図の見方」、「歴史の流れと年代の表し方」など社会科学習において必要な基本的な知識が身につけている。 (思判表力) ・ライフステージの変化に伴って、社会的な役割にも変化が生じることや、社会生活を円滑に行う上で、地理的、歴史的素養が必要になってくることを理解している。 (学・人) ・社会的な基礎知識を身につけ、さらに理解をふかめて実生活を豊かなものにしている。	(知・技) ・「ライフステージ」の表し方や、「地図の見方」、「歴史の流れと年代の表し方」など社会科学習において必要な基本的な知識が身につけている。 (思・判・表) ・ライフステージの変化に伴って、社会的な役割にも変化が生じることや、社会生活を円滑に行う上で、地理的、歴史的素養が必要になってくることを理解している。 (主学) ・社会的な基礎知識を身につけ、さらに理解をふかめて実生活を豊かなものにしている。	ライフステージの表し方 地図の見方 歴史の流れと年代の表し方	・誕生から老年期までの「ライフステージマップ」を作成し、自分の生き方や将来の目標を見通す。 ・方位や縮尺などの地理の基本的な知識はもとより、地図アプリの活用などもできるよう、地図の約束事についてしっかり理解する。 ・さまざまな年代の表し方や時代の表し方をはじめとする歴史の基本的な知識だけでなく、歴史的な偉人や社会貢献した人物にも目を向け、その生き方や考え方を学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 2 学年 社会科 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	2 学年		くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が、様々な産業を発展させていることを理解することができる。 (思判表力) ・社会への関わり方を選択・判断する力を適切に表現することができる。 (学・人) ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が、様々な産業を発展させていることを理解している。 (思・判・表) ・社会への関わり方を選択・判断する力を適切に表現している。 (主学) ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	1 情報の活用 (1) 情報機器 (2) 情報の共有	・webサイトを活用し、情報機器の基本的な操作を学ぶ。 ・自分が興味のある、ニュースについて調べまとめる。 ・調べたニュースを発表する。
	5	(知及技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとしている。	1 沖縄の地理・郷土・歴史・文化	・図書館へ行って、沖縄に関する本を読む。 ・沖縄戦について
	4	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現すること。 (学・人) ・国土の環境保全について、自分たちにできることを生かそうとすることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環境保全について、自分たちにできることを生かそうとしている。	1 自然災害 (1) 自然災害の種類 (2) 災害からの避難	・自然災害の種類について ・災害の備えとは ・避難訓練に向けて
	5	(知及技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を理解することができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を理解している。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について進んで調べ、学んだことを生かそうとしている。	1 社会参加ときまり (1) 国や地方公共団体のきまり ①日本国憲法 ②基本的人権の尊重と国民の義務	・都道府県、沖縄県の市町村がいくつあるか調べる ・日本国憲法の条文を読み、三大基本原理の意味を調べる。 ・国民の権利や義務について考え、責任については発表する。 ・働く人々を守るために必要な法律の種類を調べる。 ・未成年者を守るために必要な法律の種類を調べる。

2 学 期	5	(知及技) ・様々な工業生産が行われ、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。 (思判表力) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・様々な工業生産が行われ、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を学び、生かそうとしている。	1 いろいろな仕事 (1) 産業の種類 (2) 各都道府県の工業 (3) 工業生産が国民生活に果たす役割	・第一次産業から第三次産業までの職種を調べる。 ・地図帳を使って、工業の分布図を調べる。 ・ネットを活用して、国民生活に果たす役割を調べてまとめる。
	4	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を学び、生かそうとしている。	1 働く人々を守る法律 (1) 労働基準法やその他の法律 (2) 労働契約 (3) 未成年者を守るしくみ	・労働法に関する内容を動画で視聴する。 ・アルバイトや卒業後の仕事と関連して、契約の資料を参照する。
3 学 期	4	(知及技) ・日本の歴史上の主な事象を手掛かりに世の中の様子の変化について理解することができる。 (思判表力) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、表現することができる。 (学・人) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、それを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・日本の歴史上の主な事象を手掛かりに世の中の様子の変化について理解している。 (思・判・表) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、表現している。 (主学) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、それを社会生活に生かそうとしている。	1 歴史の流れと年代の表し方 (1) 日本の歴史 (2) 沖縄の歴史 (2) 沖縄の世界遺産	・日本の歴史上の事象をいくつか動画で視聴する。 ・沖縄の歴史上の事象について、図書館で調べる。 ・沖縄県の世界遺産について、調べる。
	4	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解することができる。 (思判表力) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を学び、生かそうとしている。	1 世界の中の日本 (1) 国際社会のしくみ (2) 国際社会のきまり	・国際連合の果たす役割について調べる。 ・国際連合の課題について調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 3 学年 社会科 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	3 学年		くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が、様々な産業を発展させていることを理解することができる。 (思判表力) ・社会への関わり方を選択・判断する力を適切に表現することができる。 (学・人) ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が、様々な産業を発展させていることを理解している。 (思・判・表) ・社会への関わり方を選択・判断する力を適切に表現している。 (主学) ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	1 情報の活用 (1) 情報機器 (2) 情報の共有	・webサイトを活用し、情報機器の基本的な操作を学ぶ。 ・自分が興味のある、ニュースについて調べまとめる。 ・調べたニュースを発表する。
	5	(知及技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の主な事象を手掛かりに、世の中の様子を調べまとめることができる。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象から世の中の様子の変化で学んだことを生かそうとしている。	1 沖縄の地理・郷土・歴史・文化	・図書館へ行って、沖縄に関する本を読む。 ・沖縄戦について
	4	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現すること。 (学・人) ・国土の環境保全について、自分たちにできることを生かそうとすることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環境保全について、自分たちにできることを生かそうとしている。	1 自然災害 (1) 自然災害の種類 (2) 災害からの避難	・自然災害の種類について ・災害の備えとは ・避難訓練に向けて
	5	(知及技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を理解することができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を理解している。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について進んで調べ、学んだことを生かそうとしている。	1 社会参加ときまり (1) 国や地方公共団体のきまり ①日本国憲法 ②基本的人権の尊重と国民の義務	・都道府県、沖縄県の市町村がいくつあるか調べる ・日本国憲法の条文を読み、三大基本原理の意味を調べる。 ・国民の権利や義務について考え、責任については発表する。 ・働く人々を守るために必要な法律の種類を調べる。 ・未成年者を守るために必要な法律の種類を調べる。

2 学期	5	(知及技) ・様々な工業生産が行われ、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。 (思判表力) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・様々な工業生産が行われ、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、などに着目し、工業生産が国民生活に果たす役割を学び、生かそうとしている。	1 いろいろな仕事 (1) 産業の種類 (2) 各都道府県の工業 (3) 工業生産が国民生活に果たす役割	・第一次産業から第三次産業までの職種を調べる。 ・地図帳を使って、工業の分布図を調べる。 ・ネットを活用して、国民生活に果たす役割を調べてまとめる。
	4	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を学び、生かそうとしている。	1 働く人々を守る法律 (1) 労働基準法やその他の法律 (2) 労働契約 (3) 未成年者を守るしくみ	・労働法に関する内容を動画で視聴する。 ・アルバイトや卒業後の仕事と関連して、契約の資料を参照する。
3 学期	4	(知及技) ・日本の歴史上の主な事象を手掛かりに世の中の様子の变化について理解することができる。 (思判表力) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、表現することができる。 (学・人) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、それを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・日本の歴史上の主な事象を手掛かりに世の中の様子の变化について理解している。 (思・判・表) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、表現している。 (主学) ・先人の業績や優れた文化遺産について調べ、それを社会生活に生かそうとしている。	1 歴史の流れと年代の表し方 (1) 日本の歴史 (2) 沖縄の歴史 (2) 沖縄の世界遺産	・日本の歴史上の事象をいくつか動画で視聴する。 ・沖縄の歴史上の事象について、図書館で調べる。 ・沖縄県の世界遺産について、調べる。
	4	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解することができる。 (思判表力) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を学び、生かそうとすることができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・課題解決に向け、国際社会において果たしている役割を学び、生かそうとしている。	1 世界の中の日本 (1) 国際社会のしくみ (2) 国際社会のきまり	・国際連合の果たす役割について調べる。 ・国際連合の課題について調べる。
留意点 引継ぎ等		・3学年は1，2学年での既習事項について、グループセッションやポスター作成など探究学習を行い、理解を深める。			

令和6年度 1年 数学 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	1 学年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しを持ち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めてねばり強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができる。 (思判表力) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察できる。 (学・人) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができています。 (思・判・表) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察できている。 (主学) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようとしている。	1 四則演算 (1)自然数の性質 (2)小数及び分数の性質 (3)長さ（重さ）と計算 (4)時間、時刻の計算	・奇数、偶数について ・加減乗除 ・小数、分数の表し方 ・数の大小比較 ・加法と減法 ・長さの単位（mm、cm、m等） ・重さの単位（g、kg、t等） ・時、分、秒について
2 学期	14	(知及技) ・基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにすることができる。 (思判表力) ・平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりすることができる。 (学・人) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにすることができる。 (思・判・表) ・平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりすることができる。 (主学) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようとしている。	2 図形 (1)平面図形の名称と特徴 (2)面積	・円 ・三角形の種類、特徴 ・四角形の種類、特徴 ・面積の求め方
	14	(知及技) ・二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身につけることができる。 (思判表力) ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気づき、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察できる。 (学・人) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身につけている。 (思・判・表) ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気づき、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察できている。 (主学) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようとしている。	3 比例・反比例 (1)数量の関係 (2)変化量	・比の値、比の計算 ・道のり、速さ、時間の関係 ・目的地までの距離 ・表の作成
3 学期	16	(知及技) ・データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解できる。 (思判表力) ・身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現できる。 (学・人) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解できている。 (思・判・表) ・身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現できている。 (主学) ・学んだことのよさを理解し、生活や学習に活用しようとしている。	4 表とグラフ (1)表の読み取り (2)グラフの読み取り (3)グラフの作成	・時刻表（バス、モノレール） ・新聞、ニュースの表やグラフ ・グラフの種類、特徴 ・アンケート集約（グラフ作成）
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 2年 数学 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	2 学年		くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しを持ち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めてねばり強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・整数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察できる。 (学・人) ・学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・整数の性質や分数及び小数の意味、法則を理解し、計算する技能を身につけている。 (思・判・表) ・目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察できている。 (主学) ・学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	1 四則演算 (1)整数の計算 (2)小数及び分数の性質 (3)距離と時間	・奇数、偶数、正負の数について ・加減乗除 ・小数、分数の表し方と大小比較 ・加法と減法 ・目的地までの距離と移動時間
2 学期	14	(知及技) ・平面図形や立体図形の構成要素を知り、作図したり、面積を求めることができる。 (思判表力) ・図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察できる。 (学・人) ・学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・平面図形や立体図形の構成要素を知り、作図したり、面積を求めることができる。 (思・判・表) ・図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察できている。 (主学) ・学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	2 図形（平面・立体） (1)図形の名称と特徴 (2)三角形の角度	・平面図形、立体図形の名称 ・作図 ・展開図 ・角の大きさ ・内角の和
	14	(知及技) ・比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解できる。 (思判表力) ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察できる。 (学・人) ・学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解できている。 (思・判・表) ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察できている。 (主学) ・学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	3 比例・反比例 (1)数量の関係 (2)グラフ	・関数関係の意味 ・変化量 ・働く時間と時給 ・座標の意味 ・比例、反比例表 ・グラフ
3 学期	16	(知及技) ・データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方を理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現できる。 (学・人) ・学習したことを生活や学習に活用しようすることができる。	(知・技) ・データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方を理解することができる。 (思・判・表) ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現できている。 (主学) ・学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	4 表とグラフ (1)表、グラフの読み取り (2)資料の整理	・時刻表（バス、モノレール） ・新聞、ニュースの表やグラフ ・グラフの種類、特徴 ・アンケート集約（グラフ作成）
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 3年 数学 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	3学年		くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しを持ち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表現したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めてねばり強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・整数の性質、小数や分数について理解するとともに、それらを計算する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・目的に応じて多様な表現方法を用いながら、数の表し方や計算の仕方などを考察できる。 (学・人) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	(知・技) ・整数の性質、小数や分数について理解するとともに、それらを計算する技能を身につけている。 (思・判・表) ・目的に応じて多様な表現方法を用いながら、数の表し方や計算の仕方などを考察できている。 (主学) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	1 四則演算 (1)整数の性質 (2)小数及び分数の性質 (3)距離と時間	・加減乗除 ・素数、素因数分解 ・小数、分数の表し方と大小比較 ・加減乗除 ・目的地までの距離と移動時間
2学期	14	(知及技) ・円の面積や立方体、直方体、角柱、円柱の体積を求めたりする技能を身につけることができる。 (思判表力) ・体積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 (学・人) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	(知・技) ・円の面積や立方体、直方体、角柱、円柱の体積を求めたりする技能を身につけている。 (思・判・表) ・体積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 (主学) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	2 図形（平面・立体） (1)図形の名称と特徴 (2)面積、体積	・平面図形、立体図形の名称 ・作図 ・展開図 ・面積計算 ・体積計算
	14	(知及技) ・比例や反比例の関係、比について理解するとともに、それらの関係について表や式を用いて処理できる。 (思判表力) ・目的に応じて表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を考察できる。 (学・人) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	(知・技) ・比例や反比例の関係、比について理解するとともに、それらの関係について表や式を用いて処理できている。 (思・判・表) ・目的に応じて表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を考察できている。 (主学) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	3 比例・反比例 (1)数量の関係 (2)グラフ	・関数関係の意味 ・速度と距離 ・働く時間と時給 ・座標の意味 ・比例、反比例表 ・関数式 ・グラフ
3学期	16	(知及技) ・量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解できる。 (思判表力) ・データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現できる。 (学・人) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	(知・技) ・量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解できている。 (思・判・表) ・データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現できている。 (主学) ・多面的に考察し、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えることができる。	4 表とグラフ (1)表、グラフの読み取り (2)資料の整理	・時刻表（バス、モノレール） ・平均値、中央値、最頻値 ・グラフの種類、特徴 ・アンケート集約（グラフ作成）
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 1年 理科 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	1学年		くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生命の連続性、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、予想や仮説を基に解決の方法を考える力を養う。生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて調べる中で、それらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) 生命の連続性、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを活かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・人の体のつくりや呼吸、消化、排出及び循環の働き、動物の発生や成長についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・人や動物の体のつくりと働き、動物の発生や成長の様子と経過について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) ・人や動物の体のつくりや働きについて進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①食べ物は消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出される ②体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されている ③血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいる ④体内には、生命活動を維持するための様々な臓器がある ⑤人は、母体内で成長して生まれる (思・判・表) ・人の体のつくりや働きについて、自ら教科書を読んだり友だちと教え合ったりしながらワークシートの記入ができています。 ・肺と心臓の働きから、運動時と安静時の心拍数や呼吸数の変化の理由について考え、言葉や文字で表現している。 (主学) ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	人の体のつくりと働き ・人の体のつくり ・胃、小腸、大腸の働き ・肺の働き ・心臓の働き ・腎臓の働き 動物の誕生 ・動物の誕生	・胃、小腸、大腸、肝臓の働きについてまとめる。 ・肺の働きについてまとめる。 ・心臓の働きについてまとめる。 ・運動時と安静時の脈拍数を測って比べる。 ・腎臓の働きについてまとめる。 ・動物の誕生について（ヒトを例に）調べてまとめる。 ・ペーパー人体模型をつくる。 ・イメージマップを書く。
2 学期	14	(知及技) ・植物の育ち方、植物の養分と水の通り道についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・植物の育ち方、植物の養分と水の通り道について調べる中で、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) ・植物の育ち方、植物の養分と水の通り道について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・葉や花の色や形、つき方などに着目して植物を見分けることができる。 ・次のことを理解している。 ①植物は、種子の中の養分を基に発芽する ②植物の発芽には、水、空気、温度が関係している ③植物の成長には、日光や肥料などが関係している ④花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができる ⑤植物の葉に日光が当たるとでんぷんができる ⑥根、茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出される (思・判・表) ・植物の発芽と成長に関わる条件についての予想や仮説を基に、実験計画を立てることができる。 ・体内の水などの行方について考察することができる。 (主学) ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	植物の育ち方 ・植物の体のつくり ・植物の発芽、成長、結実 植物の養分と水の通り道 ・光合成のしくみ	・植物の体のつくりについてまとめる。 ・条件を変えて、発芽の様子を観察する。 ・植物の発芽、成長、結実についてまとめる。 ・光合成についてまとめる。 ・イメージマップを書く。
3 学期	8	(知及技) ・生物と環境についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・生物と環境について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) ・生物と環境について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きている ②生物の間には、食う食われるの関係がある ③人は、環境と関わり、工夫して生活している ・双眼顕微鏡を扱うことができる。 (思・判・表) ・暮らしの中で、水がどのように循環しているか考え、言葉や図で説明することができる。 ・様々な生物を食う食われるの関係に当てはめることができる。 (主学) ・「生物と環境」に関わる環境問題の中で興味があるテーマについて調べ、発表することができる。 ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	生物と環境 ・水と空気の循環 ・食物連鎖 ・環境問題（水質汚染、大気汚染、生態系破壊、フードロスなど）	・水の循環について考え、まとめる。 ・食物連鎖について考え、まとめる。 ・イメージマップを書く。 ・環境問題について調べて発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 2年 理科 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	2学年		くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な物質、物の溶け方、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)物の溶け方について調べる中で、予想や仮説を基に解決の方法を考える力を養う。身近な物質、水溶液の性質、電気の性質や働きなどについて調べる中で、それらの働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)身近な物質、電気の性質や働き、物の溶け方、水溶液の性質、てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) ・身近な物質の持つ特徴について理解することができる。 ・電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・身の周りの物質が持つ特徴について、具体物を元にそれぞれの共通点を見いだすことができる。 ・電気の性質や働きについて調べる中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (学・人) ・電気の性質や働き、燃焼の仕組み、てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①プラスチック、金属、ガラスには、重さや固さ、電気の通しやすさ、熱の伝わりやすさなどの違いや固有の特徴がある ②電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができる ③電気は、光、音、熱、運動などに変換することができる ④身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具がある ⑤てこの規則性を利用した道具がある (思・判・表) ・身の周りの物質について、具体物をあげたり、それらの共通点を考えることができる。 ・電気の利用について、自ら教科書を読んだり友だちと教え合ったりしながらワークシートを記入している。 ・発電や蓄電、電気の交換について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) ・「電気の利用」に関わる環境問題の中で興味があるテーマについて調べ、発表している。 ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	身の周りの物質 ・プラスチック ・金属 ・ガラス 電気の利用 ・電気の性質と働き ・電気の交換 ・電気と環境問題 てこの規則性 ・てこの規則性と生活の中でのこ	・プラスチックの性質についてまとめる。 ・金属の性質についてまとめる。 ・ガラスの性質についてまとめる。 ・電気の性質についてまとめる。 ・身の回りの家電製品について考える。 ・電気と環境問題について調べて発表する。 ・てこの規則性についてまとめ、てこを使った身近な道具について考える。 ・「電気の利用」「てこの規則性」のイメージマップを書く。
2学期	14	(知及技) ・物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・物の溶け方について調べる中で、予想や仮説を基に解決の方法を考えることができる。 (学・人) ・物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらない ②物が水に溶ける量には、限度がある ③物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって異なり、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができる ・砂糖や食塩などの溶解度を調べ、結果を表や図にしている。 ・実験道具や材料を適切に扱っている。 (思・判・表) ・物の溶け方について、自ら教科書を読んだり友だちと教え合ったりしながらワークシートを記入している。 ・物の溶け方についての規則性を予想し、身近な溶質の溶解度を調べる方法について考えることができる。 (主学) ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	物の溶け方 ・色々な水溶液 ・溶質、溶媒、溶液の重さ ・溶解度と飽和水溶液	・色々な水溶液について知る。 ・溶質、溶媒、溶液の重さについてまとめよう、確かめる。 ・溶解度と飽和水溶液についてまとめる。 ・色々な水溶液の溶解度を調べる。 ・「物の溶け方」のイメージマップを書く。
3学期	8	(知及技) ・水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) ・水溶液の性質や働きについて進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがある ②水溶液には、気体が溶けているものがある ③水溶液には、金属を変化させるものがある ・試験紙や試薬の色の変化から、水溶液の性質を判断することができる。 ・実験道具や材料を適切に扱うことができる。 (思・判・表) ・水溶液の性質や働きについて、溶けているものによる性質や働きの違いについて、知識や情報を元に予想したり仮説を立てたり規則性を見出したりしている。 (主学) ・身のまわりの色々な水溶液について、溶質の状態や溶液の性質、働きの違いに着目して調べたり分類したりしている。 ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	水溶液の性質 ・水溶液の性質と働き ・身の回りの水溶液(溶質の状態や性質、働きの違いに着目して)	・水溶液の性質と働きについてまとめる。 ・水溶液の性質を調べる。 ・身の回りの水溶液について調べる。 ・「水溶液の性質」のイメージマップを書く。
留意点 引継ぎ等		※2学年と3学年は同内容の単元を扱う。2年次までに扱っていない内容を3年次で扱うこととする。 ※3年次では、「月と太陽」「天気の変化」「流れる水の働きと土地の変化」「土地のつくりと変化」について扱う予定。			

令和6年度 3年 理科 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	3学年		くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な物質、物の溶け方、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)物の溶け方について調べる中で、予想や仮説を基に解決の方法を考える力を養う。身近な物質、水溶液の性質、電気の性質や働きなどについて調べる中で、それらの働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)身近な物質、電気の性質や働き、物の溶け方、水溶液の性質、てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) ・身近な物質の持つ特徴について理解することができる。 ・電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・身の周りの物質が持つ特徴について、具体物を元にそれぞれの共通点を見いだすことができる。 ・電気の性質や働きについて調べる中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (学・人) ・電気の性質や働き、燃焼の仕組み、てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①プラスチック、金属、ガラスには、重さや固さ、電気の通しやすさ、熱の伝わりやすさなどの違いや固有の特徴がある ②電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができる ③電気は、光、音、熱、運動などに変換することができる ④身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具がある ⑤てこの規則性を利用した道具がある (思・判・表) ・身の周りの物質について、具体物をあげたり、それらの共通点を考えることができる。 ・電気の利用について、自ら教科書を読んだり友だちと教え合ったりしながらワークシートを記入している。 ・発電や蓄電、電気の交換について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) ・「電気の利用」に関わる環境問題の中で興味があるテーマについて調べ、発表している。 ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	身の周りの物質 ・プラスチック ・金属 ・ガラス 電気の利用 ・電気の性質と働き ・電気の交換 ・電気と環境問題 てこの規則性 ・てこの規則性と生活の中でのこ	・プラスチックの性質についてまとめる。 ・金属の性質についてまとめる。 ・ガラスの性質についてまとめる。 ・電気の性質についてまとめる。 ・身の回りの家電製品について考える。 ・電気と環境問題について調べて発表する。 ・てこの規則性についてまとめ、てこを使った身近な道具について考える。 ・「電気の利用」「てこの規則性」のイメージマップを書く。
2学期	14	(知及技) ・物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・物の溶け方について調べる中で、予想や仮説を基に解決の方法を考えることができる。 (学・人) ・物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらない ②物が水に溶ける量には、限度がある ③物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって異なり、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができる ・砂糖や食塩などの溶解度を調べ、結果を表や図にしている。 ・実験道具や材料を適切に扱っている。 (思・判・表) ・物の溶け方について、自ら教科書を読んだり友だちと教え合ったりしながらワークシートを記入している。 ・物の溶け方についての規則性を予想し、身近な溶質の溶解度を調べる方法について考えることができる。 (主学) ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	物の溶け方 ・色々な水溶液 ・溶質、溶媒、溶液の重さ ・溶解度と飽和水溶液	・色々な水溶液について知る。 ・溶質、溶媒、溶液の重さについてまとめよう、確かめる。 ・溶解度と飽和水溶液についてまとめる。 ・色々な水溶液の溶解度を調べる。 ・「物の溶け方」のイメージマップを書く。
3学期	8	(知及技) ・水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) ・水溶液の性質や働きについて進んで調べ、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・次のことを理解している。 ①水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがある ②水溶液には、気体が溶けているものがある ③水溶液には、金属を変化させるものがある ・試験紙や試薬の色の変化から、水溶液の性質を判断することができる。 ・実験道具や材料を適切に扱うことができる。 (思・判・表) ・水溶液の性質や働きについて、溶けているものによる性質や働きの違いについて、知識や情報を元に予想したり仮説を立てたり規則性を見出したりしている。 (主学) ・身のまわりの色々な水溶液について、溶質の状態や溶液の性質、働きの違いに着目して調べたり分類したりしている。 ・毎時間または単元ごとに学んだ内容を自分の言葉や図などでまとめている。	水溶液の性質 ・水溶液の性質と働き ・身の回りの水溶液(溶質の状態や性質、働きの違いに着目して)	・水溶液の性質と働きについてまとめる。 ・水溶液の性質を調べる。 ・身の回りの水溶液について調べる。 ・「水溶液の性質」のイメージマップを書く。
留意点 引継ぎ等		※2学年と3学年は同内容の単元を扱う。2年次までに扱っていない内容を3年次で扱うこととする。			

令和6年度 2年 音楽 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	2学年		MOUSA I

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技) ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようと創意工夫できる。 (学・人) ・歌詞が表す情景や心情に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組む。	(知・技) ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図を持っている。 (主学) ・歌詞が表す情景や心情に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組もうとしている。	正しい発声法を身につけるよう 「校歌」「花」「翼をください」等	- 正しい姿勢、ハッキリとした発音で歌う。 - 校歌を覚えて歌う。 - 歌詞の意味を理解して歌う。
	12	(知及技) ・音符や音楽を形づくっている要素について理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようと表現を創意工夫する。 (学・人) ・「強弱」「速度」等の音楽を形づくっている要素に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にリズム学習へ取り組む。	(知・技) ・音符や音楽を形づくっている要素について理解している。 (思・判・表) ・簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (主学) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもっている。 (主学) ・リズムを教えあい、グループで協力して練習へ取り組んでいる。	リズム基礎 「リズムリレー」 「歩いて帰ろう」等	- 音符と休符の名前、長さについて知る。 - 音符カードによる簡易なリズム譜を見て、演奏する。 「強弱」「速度」等音楽を形づくっている要素を意識して演奏する。 - グループ練習
2学期	14	(知及技) ・歌詞の内容を理解し、外国語の発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようと創意工夫でき、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。	(知・技) ・歌詞の内容を理解している。 (思・判・表) ・外国語の発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (主学) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもち、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組んでいる。	外国語で歌ってみよう 「Io sole mio」 「Amazing Grace」 「Smile」等	- リズムや音程を意識して歌う。 - 外国語の発音に注意して歌う。 - 歌詞の内容や言葉の響きを感じて歌う。 - DVDや生演奏の鑑賞
	14	(知及技) ・高音部譜表の読み方や音符と鍵盤の関係について理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようと表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・キーボードやハンドベルの音色や表現方法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽学習へ取り組む。	(知・技) ・高音部譜表の読み方や音符と鍵盤の関係について理解している。 (思・判・表) ・簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (主学) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもっている。 (主学) ・楽器の準備片付けを率先して行い、グループで協力して練習へ取り組んでいる。	器楽に親しむ ・ハンドベル ・キーボード キーボードに挑戦 「よるこびのうた」 「ゴジラのテーマ」等	- キーボードの基本的な扱いや鍵盤と音との関係を確認する。 - 楽譜に階名を書く。 - 皆で協力してハンドベル合奏をする。 - 指使いに注意し、右手で旋律を演奏する。 - 左手で伴奏を弾く。 - 両手で演奏できるよう練習する。

3 学 期	8	(知及技) ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を理解することができる。 (思判表力) ・音色や音階などの音楽の特徴を味わって聴くことができる。 (学・人) ・「ガムラン」や「フォルクローレ」のよさや美しさを味わって聴き、世界の様々な音楽の多様性を認め大切にしようとしている。	(知・技) ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を理解している。 (思・判・表) ・音色や音階などの音楽の特徴を味わって聴くことができる。 (主学) ・「ガムラン」や「フォルクローレ」のよさや美しさを味わって聴き、世界の様々な音楽の多様性を認め大切にすることを身に付けている。	世界の音楽に親しもう 「ガムラン」「フォルクローレ」等	・DVDや生演奏の鑑賞 ・感じたことを言葉で表現する。
	8	(知及技) ・音楽を形づくっている要素について理解し、速度や強弱など曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようと表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・指揮者の働きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に指揮や演奏に取り組む。	(知・技) ・音符や音楽を形づくっている要素について理解している。速度や強弱など曲想に合わせて表現する技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもっている。 (主学) ・指揮者をしっかり見て演奏しようとしている。 ・演奏しやすいように指揮を振っている。	指揮に挑戦 「カノン」等 二部合唱に挑戦 「旅立ちの日に」等	・速さ・強弱を意識して指揮をする。 ・演奏者に合図を出して指揮する。 ・交代で指揮をする ・リズムや音程を意識して歌う。 ・他のパートにつられずに自分のパートを歌う。 ・互いの歌声を聞き合い、二部合唱する。 ・歌詞の意味を理解して歌う。
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 3年 音楽 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	3 学年 音楽選択者		Music View

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・声の音色や響き及び言葉の特性に応じた発声との関わりについて理解することができる。 ・各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようとして表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱に取り組むことができる。	(知・技) ・声の音色や響き及び言葉の特性に応じた発声との関わりについて理解している。 ・他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもっている。 (主学) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱に取り組んでいる。	二部合唱に挑戦 「ぼくらの世界」等	・パート練習 ・リズムや音程を意識して歌う。 ・他のパートにつられずに自分のパートを歌う。 ・互いの歌声を聞き合い、二部合唱する。 ・歌詞の意味を理解して歌う。 ・交代で指揮をする
	8	(知及技) ・ミュージカルのあらすじや歌詞の内容を理解し、発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようとして創意工夫でき、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・「速度」「音色」等の音楽を形づくっている要素に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にリズム学習へ取り組むことができる。	(知・技) ・ミュージカルのあらすじや歌詞の内容を理解している。発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもち、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・Cupsのリズムを教えあい、グループで協力して練習へ取り組んでいる。	ミュージカルの音楽 「サウンドオブミュージック」より『私のお気に入り』『ドレミの歌』『ピッチパーフェクト』より『Cups』	・リズムや音程を意識して歌う。 ・発音に注意して歌う。 ・歌詞の内容やミュージカルのあらすじを理解して歌う。 ・Cupsのリズムを学習する ・ミュージカルを鑑賞し楽しむ。
	6	(知及技) ・ギターの基本的な扱い方やコード譜の読み方について理解し、簡単なコードを押さえて演奏できる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようとして表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・ギター音色や表現方法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽学習へ取り組むことができる。	(知・技) ・ギターの基本的な扱い方やコード譜の読み方について理解している。簡単なコードを押さえて演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもっている。 (主学) ・楽器の準備片付けを率先して行い、友達と教えあいながら練習へ取り組んでいる。	ギターに親しむ ・各部の名称、基本的な扱い方 ・コード譜の読み方	・ギターの各部の名称や基本的な扱いを知る。 ・コードの押さえ方を知る。 ・曲に合わせてコードを演奏する。
	8	(知及技) ・歌詞の内容とその背景となる文化や歴史を理解し、心をこめて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・心に残る平和の歌について調べ、発表できる。 (学・人) ・平和をテーマにした歌の多様性に関心をもち、主体的に調べ学習へ取り組むことができる。	(知・技) ・歌詞の内容とその背景となる文化や歴史を理解している。大切な歌詞をはっきりと発音する技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分が選択した理由や曲へ込められた思いを調べ、発表することができる。 (主学) ・自分で選曲し、iPadを使って調べ学習へ取り組んでいる。	平和の歌について考えよう 「Imagine」「時をこえ」等	・歌詞や発音に注意して歌う。 ・歌詞の意味やその背景を知る。 ・「平和」をテーマにした曲を鑑賞し、心に残った1曲について調べ、壁新聞にまとめる。

2 学 期	14	(知及技) ・歌詞の内容を理解し、外国語の発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしよう と創意工夫でき、作曲家や作詞者の思いを味わって聴くことができる。 (学・人) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。	(知・技) ・歌詞の内容を理解し、外国語の発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしよう という思いや意図をもち、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組んでいる。	外国語で歌ってみよう 「茉莉花」「Oh happy day」「シェリトリン」等	・リズムや音程を意識して歌う。 ・外国語の発音に注意して歌う。 ・歌詞の内容や言葉の響きを感じて歌う。 ・DVDや生演奏の鑑賞
	14	(知及技) ・ギターの音色と奏法との関わりを理解することができる。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしよう と表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・「音色」等の音楽を形づくっている要素に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽学習へ取り組むことができる。	(知・技) ・ギターの音色と奏法との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしよう という思いや意図をもっている。 (主学) ・楽器の準備片付けを率先して行い、友達と教えあいながら練習へ取り組んでいる。	ギターに挑戦 「ハッピーバースデー」 「日曜日よりの使者」 「スタンドバイミー」 鑑賞「アルハンブラの思い出」	・コードの押さえ方を復習し、コードチェンジの練習をする。 ・曲に合わせてコード伴奏をする。
3 学 期	8	(知及技) ・楽器や音色の特徴とその背景となる文化や歴史を理解することができる。 (思判表力) ・「音色」「音階」等の音楽の特徴を味わって聴くことができる。 (学・人) ・楽器の音色に関心をもち、世界の様々な音楽の多様性を認め大切にすることができる。	(知・技) ・楽器や音色の特徴とその背景となる文化や歴史を理解している。 (思・判・表) ・音色や音階などの音楽の特徴を味わって聴くことができる。 (主学) ・楽器の音色に関心をもち、世界の様々な音楽の多様性を認め大切にすることを身に付けている。	いろいろな楽器に触れてみよう ・管楽器 ・弦楽器 ・和楽器 等	・楽器体験 ・動画鑑賞
	8	(知及技) ・歌詞の内容を理解し、発声に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしよう と創意工夫でき、作曲家や作詞者の思いを味わって聴くことができる。 (学・人) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。	(知・技) ・歌詞の内容を理解し、発声に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしよう という思いや意図をもち、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組んでいる。	卒業に向けて ・卒業の歌 ・校歌	・リズムや音程を意識して歌う。 ・発声を意識して歌う。 ・歌詞の意味を考え、心を込めて歌う。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 美術年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	1年9・10組		高校生の美術（日本文教出版）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （知識及び技能） 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 （思考力・判断力・表現力） 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 （学びに向かう力・人間性等） 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	（知及技） ・造形的な視点について理解することができる。 （思判表力） ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、考えたことを伝えることができる。 （学・人） ・対象や事象を見つめ感じ取ることができる。	（知・技） ・造形的な視点について理解することができる。 （思・判・表） ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、考えたことを伝えることができる。 （主学） ・対象や事象を見つめ感じ取ることができる。	・オリエンテーション ・発想テスト	・授業の方針や留意点棟確認 ・思考・判断力の考え方の説明 ・柔軟な発想の定着
	12	（知及技） ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、表現方法を工夫して表すことができる。 （思判表力） ・形や色彩、材料や光などの動きを工夫して表現できる。 （学・人） ・造形的な視点について理解することができる。	（知・技） ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、表現方法を工夫して表すことができる。 （思・判・表） ・形や色彩、材料や光などの動きを工夫して表現できている。 （主学） ・造形的な視点について理解することができる。	・デッサン（基礎形体） ・平面構成 ・モダンテクニック	・観察の重要性を学び用具や技能を通じて表現を広げる ・着彩、構成の基礎と応用を学ぶ ・多様な表現方法を学ぶ
	12	（知及技） ・発想したことや創造したことを基に表すことができる。 （思判表力） ・デザインの効果、表現形式について考えることができる。 （学・人） ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることが理解できる。	（知・技） ・発想したことや創造したことを基に表すことができる。 （思・判・表） ・デザインの効果、表現形式について考えることができる。 （主学） ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることが理解できている。	・ネームデザイン	・身近なものから発想を高める方法を習得する ・形態から形の省略と強調、構成感覚、造形の工夫を学ぶ ・身近な自己の名前からイメージしてネームデザインを制作する。
2学期	6	（知及技） ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付けることができる。 （学・人） ・造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	（知・技） ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付けることができる。 （主学） ・造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	・竹とんぼ制作	・素材の加工法・道具の使用法を学ぶ。 ・昔の玩具づくりの良さを味わい楽しむ。
	4	（知及技） ・自分の表現方法を創造的に表すことができる。 （学・人） ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動に参加することができる。	（知・技） ・自分の表現方法を創造的に表すことができる。 （主学） ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動に参加することができる。	・ハロウィンイラストデザイン	南風原高校と合同の制作活動 ・美術活動を通じて季節行事に参加し、創造活動と社会的なつながりで楽しむ方法を学ぶ。 ・校内にいるおばけを想像して描く。 ・描いた作品を校内に展示（飾る）して行事を楽しむ。
	6	（知及技） ・手順や技法などを吟味し、表すことができる。 （思判表力） ・用途と美しさの調和を考え、構想を練ることができる。 （学・人） ・生活の中の美術のよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにすることができる。	（知・技） ・手順や技法などを吟味し、表すことができる。 （思判表力） ・用途と美しさの調和を考え、構想を練ることができる。 （主学） ・生活の中の美術のよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにすることができる。	・ハンカチの絞り染め制作	・自分で使うことを意識してデザインする。 ・絞り染めの技法を学ぶ。 ・デザインした型をハンカチに染色する。 ・工芸作品を鑑賞して多様な表現、表現意図について学ぶ。

	12	(知及技) ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しを持って表すことができる。 (思判表力) ・表したいことを見付け、構成の美しさを考えて主題を表すことができる。 (学・人) ・伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出すことができる。	(知・技) ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しを持って表すことができる。 (思・判・表) ・表したいことを見付け、構成の美しさを考えて主題を表すことができる。 (主学) ・伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出すことができる。	・陶芸制作 シーサー・器	・シーサー、器づくりを通して陶芸の基礎を学び創造的に表現する。 ・陶芸の制作工程や道具の使い方を確認しながら制作する。
3 学期	14	(知及技) ・活動に応じて材料や用具を活用し、工夫してつくることができる。 (思判表力) ・表したいことを見付け、形や色などからどのように表すか考えることができる。 (学・人) ・進んで表現する活動に取り組むことができる。	(知・技) ・活動に応じて材料や用具を活用し、工夫してつくることができる。 (思・判・表) ・表したいことを見付け、形や色などからどのように表すか考えることができる。 (主学) ・進んで表現する活動に取り組むことができる。	・紙粘土による造形 テーマ「マスコットキャラクター」	・人体的な構造を理解し、造形的な見方で制作する。
	2	(学・人) ・美術作品などのよさや美しさを感じ取り、表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	(主学) ・美術作品などのよさや美しさを感じ取り、表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	・鑑賞	・制作した作品をあらためて見ることで自己の成長を確認する。 ・自己の作品を大切にし美術を愛好する姿勢を育てる。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 美術年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
70	3年選択美術		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知識及技能) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思考力・判断力・表現力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (学びに向かう力・人間性等) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
------	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技) ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 (思判表力) ・自己や生活などを見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成することができる。 (学・人) ・主体的に美術の活動に取り組み心豊かな生活を創造していくことができる。	(知・技) ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 (思・判・表) ・自己や生活などを見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成することができる。 (主学) ・主体的に美術の活動に取り組み心豊かな生活を創造していくことができる。	・オリエンテーション ・学校生活を表す	・授業の方針や留意点確認 ・学校生活を振り返り、行事などに思いをはせ、印象や瞬間の美しさなどを基に、構図や効果を考え、学校生活で心に残る情景を思いが伝わるように表す。
	10	(知及技) ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることが理解できる。 (思判表力) ・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成することができる。 (学・人) ・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、構想を練ることができる。	(知・技) ・造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることが理解できている。 (思・判・表) ・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成することができる。 (主学) ・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、構想を練ることができる。	・パッケージデザイン ・鑑賞	食品加工とのコラボ制作 ・食品加工で製作しているマフィン、クッキーのパッケージをデザインする。 ・客が手に取るような商品が魅力的に見えるようなデザインを考える。 ・パッケージの形状を意識してデザインする。 ・パッケージ制作。 ・食品、飲料、日用品の包装、容器を要する様々な商品を鑑賞してその商品特性や表現方法を学ぶ。
2学期	16	(知及技) ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表すことができる。 (思判表力) ・対象を見つめ感じ取った形や特徴や全体と部分との関係を考え表現することができる。 (学・人) ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動に協力して参加することができる。	(知・技) ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表すことができる。 (思・判・表) ・対象を見つめ感じ取った形や特徴や全体と部分との関係を考え表現することができる。 (主学) ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動に協力して参加することができる。	・版画共同制作 ・鑑賞	・テーマに沿った下絵を制作し、個々で描いた全作品を仲間と交流、協力しながら一つの作品に仕上げる。 ・共同版画の制作手順、技法を学び、隣り合わせる部分、白と黒のバランスを考えて完成させる。 ・絵の具以外の素材によっても味わいのある作品作りができることを学ぶ。
	4	(知及技) ・意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 (学・人) ・創造活動と社会的なつながりで楽しむ方法を学び取ることができる。	(知・技) ・意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 (主学) ・創造活動と社会的なつながりで楽しむ方法を学び取ることができる。	・ハロウィンイラストデザイン	南風原高校と合同の制作活動 ・美術活動を通じて季節行事に参加し、創造活動と社会的なつながりで楽しむ方法を学ぶ。 ・校内にいるおばけを想像して描く。 ・描いた作品を校内に展示（飾る）して行事を楽しむ。
	8	(知及技) ・表現の意図を効果的に表すことができる。 (思判表力) ・時間の流れなどの効果を考え、表現効果や伝達効果を工夫することができる。 (学・人) ・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ・表現の意図を効果的に表すことができる。 (思・判・表) ・時間の流れなどの効果を考え、表現効果や伝達効果を工夫することができる。 (主学) ・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。	・映像メディア（アニメーション）	・テーマを基に、画面の変化のさせ方や速度などを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れを考え表現方法を工夫して制作する。
3学期	14	(知及技) ・手順や技法などを吟味し、創造的に表すことができる。 (思判表力) ・用途と美しさの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さなどを生かした構想を練ることができる。 (学・人) ・生活の中の美術のよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにすることができる。	(知・技) ・手順や技法などを吟味し、創造的に表すことができる。 (思・判・表) ・用途と美しさの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さなどを生かした構想を練ることができる。 (主学) ・生活の中の美術のよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにすることができる。	・型染め（ステンシル）制作 ・鑑賞	・自分で使うことを意識してデザインする。 ・型染め（ステンシル）の技法を学ぶ。 ・デザインした型をエコバックに染色する。 ・工芸作品を鑑賞して多様な表現、表現意図について学ぶ。
	2	(学・人) ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深めることができる。	(主学) ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深めることができる。	・鑑賞	・制作した作品をあらためて見ることで自己の成長を確認する。 ・自己や他者の作品を大切にし美術を愛好する姿勢を育てる。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1年 保健体育年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	生徒		教科書／副教材
105	1年9・10組		保健：新しい保健体育（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標			（知及技） 各種の運動の特性に応じた技術等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけるようにする。 （思判表力） 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 （学・人） 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	男女	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	男女 (1 3)	（知及技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 （思判表力） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	（知・技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりしている。 （思・判・表） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・体ほぐし運動 ・体づくり運動	・準備体操 ・柔軟体操 ・ストレッチ体操 ・サーキット運動 ・集団活動における様々な動き
	22	男子 (2 2)	（知及技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 （思判表力） ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	（知・技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 （思・判・表） ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技（バレーボール） ・球技（バスケットボール）	・パス（アンダーハンド・オーバーハンド） ・レシーブ（アンダハンド） ・スパイク（ライト・センター・レフト） ・ゲーム ・パス（チェストパス・バウンズパス） ・シュート（レイアップ・ジャンプ・フリースロー） ・ゲーム
		女子 (1 1)	（知及技） ・水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 （思判表力） ・水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	（知・技） ・水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・水泳	・クロール泳法（手かき・キック） ・平泳ぎ泳法（手かき・キック） ・息継ぎ練習 ・泳力テスト

		女子 (11)	(知・技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主・学) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
4		男女 (4)	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解できる。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。 (主・学) ・自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	・保健編1章：健康な生活と疾病の予防	・健康の成り立ちと疾病の発生原因 ・運動と健康 ・食生活と健康 ・休養・睡眠と健康 ・調和のとれた生活
		男子 (11)	(知・技) ・水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主・学) ・水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・水泳	・クロール泳法（手かき・キック） ・平泳ぎ泳法（手かき・キック） ・息継ぎ練習 ・泳力テスト
		男子 (11)	(知・技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主・学) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
22		女子 (22)	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主・学) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技（バレーボール） ・球技（バスケットボール）	・パス（アンダーハンド・オーバーハンド） ・レシーブ（アンダハンド） ・スパイク（ライト・センター・レフト） ・ゲーム ・パス（チェストパス・バウンズパス） ・シュート（レイアップ・ジャンプ・フリースロー） ・ゲーム

2 学 期	10	男子 (10)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技 (バドミントン)	・打法 (クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ) ・サーブ (ショート・ロング) ・ゲーム
		女子 (10)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム
	6	男女 (6)	(知及技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・陸上 (長距離走)	・ピッチ走法 ・インターバル走 ・校外走 (3 km)
	4	男女 (4)	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解ができる。 (思判表力) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。 (主学) ・自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	・保健編2章：心身の機能の発達と心の健康	・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖器の成熟 ・異性の尊重と性情報への対処 ・心の発達 ・自己形成と心の健康⑦心と体の関り
	20	男子 (20)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム

3 学 期	4	女子 (20)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしている。	・球技 (バドミントン)	・打法 (クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ) ・サーブ (ショート・ロング) ・ゲーム
		男女 (4)	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解ができる。 (思判表力) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。 (主学) ・自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	・保健編2章心身の機能の発達と心の健康	・欲求と心の健康 ・ストレスによる健康への影響 ・ストレスへの対処の方法
	合計	105				
留意点 引継ぎ等			・ 特に無し			

令和 6 年度 2年 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数			生徒		教科書／副教材	
105			2年9・10組		保健：新しい保健体育（東京書籍）	
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度						
年間目標			（知及技） 各種の運動の特性に応じた技術等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけるようにする。 （思判表力） 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 （学・人） 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	男女	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	男女 （13）	（知及技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。 （思判表力） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 （思・判・表） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	・からだづくり運動	・準備体操　・柔軟体操　・ストレッチ体操 ・サーキット運動・集団活動における様々な動き
	22	男子 （22）	（知及技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 （思判表力） ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 （思・判・表） ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技（バレーボール） ・球技（バスケットボール）	・パス（アンダーハンド・オーバーハンド） ・レシーブ（アンダハンド） ・スパイク（ライト・センター・レフト） ・ゲーム ・パス（チェストパス・バウンズパス） ・シュート（レイアップ・ジャンプ・フリースロー） ・ゲーム
		女子 （11）	（知及技） ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 （思判表力） ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人） ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 （思・判・表） ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学） ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・水泳	・クロール泳法（手かき・キック） ・平泳ぎ泳法（手かき・キック） ・息継ぎ練習 ・泳力テスト

		女子 (11)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
4		男女 (4)	(知及技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解できる。 (思判表力) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けている。 (主学) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	・保健編3章 傷害の防止	・傷害の発生原因 ・交通事故の発生原因 ・交通事故の危険予測と回避 ・犯罪被害の防止 ・自然災害による危険
		男子 (11)	(知及技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思・判・表) ・水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・水泳	・クロール泳法(手かき・キック) ・平泳ぎ泳法(手かき・キック) ・息継ぎ練習 ・泳力テスト
22		男子 (11)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
		女子 (22)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技(バレーボール) ・球技(バスケットボール)	・パス(アンダーハンド・オーバーハンド) ・レシーブ(アンダハンド) ・スパイク(ライト・センター・レフト) ・ゲーム ・パス(チェストパス・バウンズパス) ・シュート(レイアップ・ジャンプ・フリースロー) ・ゲーム

2 学 期	10	男子 (10)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技 (バドミントン)	・打法 (クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ) ・サーブ (ショート・ロング) ・ゲーム
		女子 (10)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム
	6	男女 (6)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・陸上 (長距離走)	・ピッチ走法 ・インターバル走 ・校外走 (3 km)
		男女 (4)	(知及技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解できる。 (思判表力) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けている。 (主学) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	・保健編3章：傷害の防止 ・保健編4章：健康な生活と疾病の予防	・自然災害による傷害の防止 ・応急手当の意義と方法 ・心肺蘇生法 ・生活習慣病の起こり方 ・生活習慣病の予防 ・がんの予防
		男子 (20)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム

3 学 期	20	女子 (20)	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) ・球技についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通してきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	・球技（バドミントン）	・打法（クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ） ・サーブ（ショート・ロング） ・ゲーム
	4	男女 (4)	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解できる。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (学・人) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解している。 (思・判・表) ・体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けている。 (主学) ・自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。	保健編4章：健康な生活と疾病の予防	・喫煙の害と健康 ・飲酒の害と健康 ・薬物乱用の害と健康 ・薬物乱用の社会的な影響 ・喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処
合 計	105					
留意点 引継ぎ等			・特に無し			

令和 6 年度 3 年 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数			生徒			教科書／副教材
105			3 年 9 ・ 10組			保健：新しい保健体育（東京書籍）
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度						
年間目標			（知及技） 各種の運動の特性に応じた技術等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけるようにする。 （思判表力） 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 （学・人） 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	男女	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	男女 （1 3）	（知及技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 （思判表力） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （学・人） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、しまりを守り、自己の役割を果たし、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせ行っている。 （思・判・表） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 （主学） ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、しまりを守り、自己の役割を果たし、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・からだづくり運動	・準備体操 ・柔軟体操 ・ストレッチ体操 ・サーキット運動・集団活動における様々な動き
		男子 （2 2）	（知及技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 （思判表力） ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （学・人） ・球技の多様な経験を通して、しまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 （思・判・表） ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 （主学） ・球技の多様な経験を通して、しまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技（バレーボール） ・球技（バスケットボール）	・パス（アンダーハンド・オーバーハンド） ・レシーブ（アンダハンド） ・スパイク（ライト・センター・レフト） ・ゲーム ・パス（チェストパス・バウンズパス） ・シュート（レイアップ・ジャンプ・フリースロー） ・ゲーム
	22	女子 （1 1）	（知及技） ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに目的に応じた泳法を身に付けることができる。 （思判表力） ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的と状況に応じて他者に伝えることができる。 （学・人） ・水泳の多様な経験を通して、しまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	（知・技） ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに目的に応じた泳法を身に付けている。 （思・判・表） ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的と状況に応じて他者に伝えている。 （主学） ・水泳の多様な経験を通して、しまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・水泳	・クロール泳法（手かき・キック） ・平泳ぎ泳法（手かき・キック） ・息継ぎ練習 ・泳力テスト

		女子 (11)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動を行っている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
4		男女 (4)	(知及技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解することができる。 (思判表力) ・健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (学・人) ・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解している。 (思・判・表) ・健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (主学) ・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。	・保健編5章：健康と環境	・環境への適応能力 ・活動に適する環境 ・飲料水の衛生的管理 ・室内の空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理
		男子 (11)	(知及技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに目的に応じた泳法を身に付けることができる。 (思判表力) ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的と状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに目的に応じた泳法を身に付けている。 (思・判・表) ・水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的と状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・水泳	・クロール泳法（手かき・キック） ・平泳ぎ泳法（手かき・キック） ・息継ぎ練習 ・泳力テスト
22		男子 (11)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動を行っている。	・陸上	・50M走 ・100M走 ・砲丸投げ ・やり投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び
		女子 (22)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 (思・判・表) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技（バレーボール） ・球技（バスケットボール）	・パス（アンダーハンド・オーバーハンド） ・レシーブ（アンダハンド） ・スパイク（ライト・センター・レフト） ・ゲーム ・パス（チェストパス・バウンズパス） ・シュート（レイアップ・ジャンプ・フリースロー） ・ゲーム

2 学 期	11	男子 (11)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 (思・判・表) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技 (バドミントン)	・打法 (クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ) ・サーブ (ショート・ロング) ・ゲーム
		女子 (11)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 (思・判・表) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム
	6	男女 (6)	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) ・陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動を行っている。	・陸上 (長距離走)	・ピッチ走法 ・インターバル走 ・校外走 (3 km)
		男女 (5)	(知及技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解することができる。 (思判表力) ・健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (学・人) ・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解できている。 (思・判・表) ・健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (主学) ・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。	・保健編6章：健康な生活と疾病の予防	・感染症の広がり方 ・感染症の予防 ・性感染症の予防 ・エイズの予防 ・医薬品の利用
3 学 期	??	男子 (22)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 (思・判・表) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技 (サッカー)	・ドリブル ・パス (インサイド・アウトサイド・インステップ) ・シュート ・ゲーム

予 期	〃	女子 (22)	(知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や城状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行える。 (思・判・表) ・球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や城状況に応じて他者に伝えている。 (主学) ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	・球技 (バドミントン)	・打法 (クリアー・ヘアピン・ドロップ・ドライブ・シュマッシュ) ・サーブ (ショート・ロング) ・ゲーム
合 計	105					
留意点 引継ぎ等			・ 特に無し			

令和6年度 高等部1年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		教科書／副教材	
35		1年9組、10組		教育図書 家庭702／教育図書 おとなドリル プリント・ワークシート等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて、基本的な技能を理解することができる。 (思判表力) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて自他の課題を見つけ、その解決のために仲間と考え、工夫することができる。 (学・人) ・TP0に合わせた衣服について考え、主体的に場に応じた服装を考えることができる。	(知・技) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて、基本的な技能を理解している。 (思・判・表) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて自他の課題を見つけ、その解決のために仲間と考え、工夫しようとしている。 (主学) ・TP0に合わせた衣服について考え、主体的に場に応じた服装を考えようとしている。 【評価方法】授業様子、ワークシート、提出物等	単元名：私たちの衣生活 題材名：衣服の働きを知ろう 題材名：目的に合わせて自分らしく着よう 題材名：	・自分の普段の衣生活について（自立度チェック） ・制服のよい所や改善点について ・TP0に合わせた衣服
	9	(知及技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用手法や手順を理解することができる。 (思判表力) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表することができる。 (学・人) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に製作に積極的に取り組むことができる。	(知・技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用手法や手順を理解している。 (思・判・表) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表しようとしている。 (主学) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に取り組もうとしている。 【評価方法】授業様子、ワークシート、被服実技等	単元名：私たちの衣生活 題材名：補修の基礎（基礎縫い） 題材名：小物を製作しよう	・裁縫の基礎、基本 ・衣服の補修に基礎な手縫い（並縫い、半返し縫い、 本返し縫い、まつり縫い、ボタン付け等） ・小物の布製作（手縫い、裁断、アイロン、ミシン等）
2 学期	6	(知及技) ・食事の役割が分かり、健康によい食習慣について、理解することができる。 (思判表力) ・自分の食習慣を中心に振り返り、自らの生活習慣について見直し、表現することができる。 (学・人) ・健康と食生活について学習したことを他者と協働し、主体的に課題を見つけることができる。	(知・技) ・食事の役割が分かり、健康によい食習慣について、理解している。 (思・判・表) ・自分の食習慣を中心に振り返り、自らの生活習慣について見直し、表現したりする。 (主学) ・健康と食生活について学習したことを他者と協働し、主体的に課題を見つけようとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート、提出物等	単元名：健康と食生活 題材名：食事の役割を考えよう 題材名：健康によい食習慣について考えよう 題材名：食習慣すごろくを作ってみよう 単元名：何をどれだけ食べられようか 題材名：栄養素の種類と働きを知ろう	・自分の普段の食生活について（自立度チェック） ・自分の食習慣を振り返る ・グループで食習慣すごろくを作る
	8	(知及技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解できる。 (思判表力) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見つけることができる。 (学・人) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 (思・判・表) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見つけている。 (主学) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 【評価方法】授業様子、プリント、調理実技等	単元名：調理の基礎を知ろう 題材名：いろいろな切り方 題材名：簡単なレシピ作成 題材名：簡単な調理	・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理方法 ・後片付けの仕方 ・食材の切り方 ・簡単な調理実習
3 学期	4	(知及技) ・商品の購入方法や支払い方法の特徴を理解することができる。 (思判表力) ・消費を購入するときに意志決定のプロセスにそって、商品購入を考えることができる。 (学・人) ・普段の買い物について振り返って、自分の消費行動について課題を見つけ、主体的に改善し実践することができる。	(知・技) ・商品の購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 (思・判・表) ・消費を購入するときに意志決定のプロセスにそって、商品購入を考えようとしている。 (主学) ・普段の買い物について振り返って、自分の消費行動について課題を見つけ、主体的に改善し実践しようとしている。 【評価方法】授業様子、ワークシート、ドリル等	単元名：私たちの消費生活 題材名：買い物をふり返ってみよう 題材名：目的に合わせて自分らしく着よう	・「おとなドリル」教育出版も教科書と併用
	4	(知及技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解できる。 (思判表力) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見つけることができる。 (学・人) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 (思・判・表) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見つけている。 (主学) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 【評価方法】授業様子、プリント、調理実技等	単元名：調理の基礎を知ろう 題材名：バランスの良い献立を考えみんなで調理しよう	・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理方法 ・後片付けの仕方 ・調理実習
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部2年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		教科書／副教材	
35		2年9組、10組		教育図書 家庭702／教育図書 おとなドリル プリント・ワークシート等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高2段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて、基本的な技能を理解することができる。 (思判表力) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて自他の課題を見つけ、その解決のために仲間と考え、工夫することができる。 (学・人) ・TP0に合わせた衣服について考え、主体的に場に合った服装を考えることができる。	(知・技) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて、基本的な技能を理解している。 (思・判・表) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて自他の課題を見つけ、その解決のために仲間と考え、工夫しようとしている。 (主学) ・TP0に合わせた衣服について考え、主体的に場に合った服装を考えようとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート等	単元名：私たちの衣生活 題材名：衣服を計画的に活用できるようになる 題材名：自分にあった衣服を手に入れよう	・着られなくなった服や着ていない服について考える ・衣生活の3Rについて ・服の取り扱い表示の見方について ・実際に汚れた衣類の手入れをする
	9	(知及技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用方法和手順を理解することができる。 (思判表力) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表することができる。 (学・人) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に製作に積極的に取り組むことができる。	(知・技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用方法和手順を理解している。 (思・判・表) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表したりする。 (主学) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に取り組もうとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート、製作物等	単元名：生活を豊かにする製作 題材名：小物を製作しよう	・基本的な補修等 ・小物の布製作(手縫い、裁断、アイロン、ミシン等)
2 学期	6	(知及技) ・自分に必要な栄養素の特徴が分かり、食品の栄養的特質について理解することができる。 (思判表力) ・食事の献立について課題を見つけ、食品によって栄養素の量の違いに気づき、工夫することができる。 (学・人) ・栄養と健康に関わる課題を見つけ、主体的に食事の献立を見直そうとすることができる。	(知・技) ・自分に必要な栄養素の特徴が分かり、食品の栄養的特質について理解している。 (思・判・表) ・食事の献立について課題を見つけ、食品によって栄養素の量の違いに気づき、工夫しようとしている。 (主学) ・栄養と健康に関わる課題を見つけ、主体的に食事の献立を見直そうとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート、提出物等	単元名：何をどれだけ食べられようか 題材名：必要な栄養の特徴を知ろう 題材名：食品に含まれる栄養素を調べよう	・年齢によって、体の成長や活動量などの違いや食事摂取基準と見比べる ・食品は、どのような栄養素の量が含まれるのかを食品成分表を使って調べる ・バランスの良い献立を考える
	8	(知及技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解できる。 (思判表力) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見付けることができる。 (学・人) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 (思・判・表) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について自分や他者の課題を見つけている。 (主学) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 【評価方法】授業様子、プリント、調理実技等	単元名：調理の基礎を知ろう 題材名：肉を調理しよう 題材名：魚を調理しよう	・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理方法 ・後片付けの仕方 ・調理実習
3 学期	4	(知及技) ・家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解することができる。 (思判表力) ・家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について課題を見つけ、その解決のために仲間と考えたり、他者に伝えることができる。 (学・人) ・家族の安全や快適さを考えた、住空間の整え方について、平面図を用いて主体的に取り組む、改善することができる。	(知・技) ・家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 (思・判・表) ・家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について課題を見つけ、その解決のために仲間と考えたり、他者に伝えようとしている。 (主学) ・家族の安全や快適さを考えた、住空間の整え方について、平面図を用いて主体的に取り組む、改善しようとしている。 【評価方法】授業様子、プリント、平面図実技等	単元名：私たちの住生活 題材名：住まいの働きを知ろう 題材名：家族が暮らしやすい住まい方を考えよう 題材名：健康を守る室内環境の整え方を考えよう 題材名：災害に備えた安全な住まい方を考えよう	・住まいには、さまざまな空間があることを確認する ・実際に平面図を用いて、自分の考える間取りを作成する ・安全で快適な住空間にするためには、何が必要になるのか平面図を用いて考える
	4	(知及技) ・売買契約の仕組み、消費者被害とその背景とその対応について知ることができる。 (思判表力) ・物質やサービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。 (学・人) ・消費生活についての課題を見つけ、その解決のために主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・売買契約の仕組み、消費者被害とその背景、とその対応について知ろうとしている。 (思・判・表) ・物質やサービスの選択に必要な情報の収集・整理ができています。 (主学) ・消費生活についての課題を見つけ、その解決のために主体的に取り組もうとしている。 【評価方法】授業様子、プリント、ドリル等	単元名：私たちの消費生活 単元名：消費者の権利と責任	・「おとなドリル」教育出版も教科書と併用
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部3年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		教科書／副教材	
35		3年9組、10組		なし/教育図書 おとなドリル プリント・ワークシート等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高3段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高3段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解することができる。 (思判表力) ・これからの自分を想像し、具体的に生活設計(ライフデザイン)を考え、他者に伝え合うことができる。 (学・人) ・自分の家庭と地域の人々とのよりよい関わり方について他者と協働し、主体的に課題を発見することができる	(知・技) ・家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解しつつある。 (思・判・表) ・これからの自分を想像し、具体的に生活設計(ライフデザイン)を考えを他者に伝え合おうとしている。 (主学) ・自分の家庭と地域の人々とのよりよい関わり方について他者と協働し、主体的に課題を発見しようとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート、マイマップ作成等	・家庭生活での役割と地域との関わり ・家族関係をよりよくする方法を考えよう	・自分の家庭生活について(自立度チェック) ・将来をイメージした生活設計マップ(ライフデザイン)作り
2 学期	6	(知及技) ・幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解することができる。 (思判表力) ・幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について課題を見つけ、工夫したことを他者に伝えることができる。 (学・人) ・幼児や高齢者と接する際には、配慮が必要であることが分かり、接し方を主体的に考えることができる。	(知・技) ・幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解している。 (思・判・表) ・幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について課題を見つけ、工夫したことを他者に伝えてようとしている。 (主学) ・幼児や高齢者と接する際には、配慮が必要であることが分かり、接し方を主体的に考えようとしている。 【評価方法】授業様子、ワークシート、プリント等	・幼児や高齢者の生活 ・幼児のおやつを作ってみよう(調理実習)	・幼児や高齢者などの生活の特徴 ・幼児の心身の発達と遊び ・幼児の生活習慣 ・高齢者疑似体験 ・妊婦体験
	8	(知及技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解することができる。 (思判表力) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について考え、工夫することができる。 (学・人) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、将来の自立した生活充実を図るために実践することができる。	(知・技) ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・基本的な日常食の調理について、食品の選択の仕方、調理計画について考え、工夫しようとしている。 (主学) ・調理において、仲間と協力し、場や用具の安全を確保するとともに、将来の自立した生活充実を図るために実践しようとしている。 【評価方法】授業様子、ワークシート、調理実技等	・安全な調理方法 ・レシピ作成 ・調理実習	・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理方法 ・後片付けの仕方 ・調理実習
3 学期	2	(知及技) ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付く。 (思判表力) ・身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫することができる。 (学・人) ・消費生活や環境についての課題を見つけ、その解決のために主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づこうとしている。 (思・判・表) ・身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫している。 (主学) ・消費生活や環境についての課題を見つけ、その解決のために主体的に取り組もうとしている。 【評価方法】授業様子、プリント、ドリル等	・消費者生活が社会に与える影響を考えよう	・「おとなドリル」教育出版を使用
	6	(知及技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用の方法や手順を理解することができる。 (思判表力) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表することができる。 (学・人) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に製作に取り組むことができる。	(知・技) ・製作に必要な基礎的な縫い方や道具の使用の方法や手順を理解している。 (思・判・表) ・布を用いた簡単な小物の製作計画を考え、製作した作品の工夫したことを発表したりする。 (主学) ・製作する際は安全に留意し、他者と協働しながら、主体的に製作に取り組もうとしている。 【評価方法】授業の様子、ワークシート、製作物等	・生活を豊かにする製作 ・小物作成 ・小物を製作し、プレゼントをしよう	・小物の布製作(手縫い、裁断、アイロン、ミシン等)
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1年 外国語(英語) 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	1学年		くらしに役立つ英語 (東洋館出版社)

目標: (知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 音声や文字、語彙、表現などについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 (思・判・表) コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことが出来る基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知・技) ・アルファベット大文字／小文字の字形、字と字の適切な間隔、語と語の適切な間隔を知り、書くことができる。 ・アルファベットの持つ音を知り、区別することができる。 (思・判・表) ・音声聞いて、身近な英単語と結びつけることができる。 (学・人) ・授業で学習した自己紹介や簡単な短い会話表現をしようことができる。	(知・技) ・アルファベット大文字／小文字の字形、字と字の適切な間隔、語と語の適切な間隔を知り、書くことができる。 ・アルファベットの持つ音を知り、区別することができる。 (思・判・表) ・音声聞いて、身近な英単語と結びつけることができる。 (主学) ・授業で学習した自己紹介や簡単な短い会話表現をしようことができる。	プリント ・アルファベットの書き取り ・月の名前 ・曜日/数字	・外国語の背景にある文化に対する理解を深める ・アルファベットの正しい字形の確認をする ・自分の名前を書く ・1～12月と曜日を正しく発音する ・数字のスペルと音を一致させる
	5	(思・判・表) ・音声聞いて、身近な英単語と結びつけることができる。 (学・人) ・授業で学習した自己紹介や簡単な短い会話表現をしようことができる。	(思・判・表) ・音声聞いて、身近な英単語と結びつけることができる。 (主学) ・授業で学習した自己紹介や簡単な短い会話表現をしようことができる。	Unit1 Self-introduction	・アルファベットの確認をする ・自己紹介の表現を知る ・自分の自己紹介文を作成する ・ペアになって、互いに自己紹介をする ・人称代名詞の働きを知る
2学期	5	(知・技) ・英語の音声聞いて発音したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字との違いに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを真似ることができる。 (学・人) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとする。	(知・技) ・英語の音声聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字との違いに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを真似ることができる。 (主学) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとする。	Unit2 On the phone: Planning to meet at the airport	・電話、短い挨拶の表現を知る ・短い挨拶の表現を口に出して練習する ・be動詞を使った感情表現を知る ・ペアになって、互いに感情表現を伝える
	5	(学・人) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとする。	(主学) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとする。	Unit3 First meeting	・少し長い挨拶の表現を知る ・挨拶の表現を口に出して練習する ・ペアになって、意味の通る会話や簡単な質問をしてみる ・be動詞の疑問文・否定分の表現を知る
	2			Halloween Thanksgiving クリスマス	・Halloween、Thanksgiving、クリスマスにおける文化的な背景を知り、日本との違いを理解する
	2			Unit5 About a Japanese house	・What is this?と日常生活の中で頻繁に使う質問と、その答え方を知る ・thisをthatに変えるなどして、身の回りのものを題材に質問をし合ってみる ・所有格の人称代名詞の働きを知る
3学期	3	(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけることができる。 (学・人) ・学習した内容より、日常生活の身近なことを伝える表現をすることができる。	(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけることができる。 (主学) ・学習した内容より、日常生活の身近なことを伝える表現をすることができる。	Unit6 Touring around the town	・道案内の際の表現を知る ・イラストを用いて「Where is～?」という質問と、場所を伝える表現を口に出して練習する ・ペアになって会話の練習を行う
	5	(学・人) ・学習した内容より、日常生活の身近なことを伝える表現をすることができる。	(主学) ・学習した内容より、日常生活の身近なことを伝える表現をすることができる。		
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 2年 外国語(英語) 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	2学年		くらしに役立つ英語 (東洋館出版社)

目標: (知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションに関わる基礎的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) ・相手のやりたいことを知る疑問文や自分のやりたいことを伝える表現を理解することができる。 ・時制の表現の仕方を理解できる。	(知・技) ・相手のやりたいことを知る疑問文や自分のやりたいことを伝える表現を理解することができる。 ・時制の表現の仕方を理解できている。	簡単な自己紹介文 1年で学習したbe動詞の復習	・外国語の背景にある文化に対する理解を深める ・簡単な自己紹介文を作成し発表する ・1年生で習ったことを復習する(be動詞)
	5	(思判表力) ・学んだ会話表現の一部を変えて、状況に応じた会話文を作文したり、発音したりすることができる。 (学・人) ・学んだ会話表現を活用できる身近な状況をイメージしながら学習に取り組むことができる。	(思・判・表) ・学んだ会話表現の一部を変えて、状況に応じた会話文を作文したり、発音したりすることができる。 (主学) ・学んだ会話表現を活用できる身近な状況をイメージしながら学習に取り組むことができる。	Unit4 Going to a Japanese restaurant	・生活の中の質問の表現を知る ・様々な質問の表現を口に出して練習する ・一般動詞の働きを知る ・ペアになって、質問と応答をし合ってみる
	5			Unit7 Sending an email home	・メールの際に使用する表現を知る ・現在形と過去形の概念を知る ・文の時制を変える練習をする ・タブレットを使ってお手本を元にメール文を作成する
2 学期	5	(知及技) ・英語の音声を聞いて概要をつかんだり、身近な単語を用いて話したりして日本語の音声や文字・表現などの違いを理解することができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて概要をつかんだり、身近な単語を用いて話したりして日本語の音声や文字・表現などの違いを理解することができる。	Unit8 Requests	・何かを依頼するときの表現を知る ・will you～?とcan you～?の違いを知る ・ペアになって、依頼に応える練習、拒む練習を行う ・三単現のsについて知る
	5	(知及技) ・相手に何かの依頼をする時の表現を知ることができる。 (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で自身で作文したものをしながら伝え合うことができる。	(知・技) ・相手に何かの依頼をする時の表現を知ることができる。 (思・判・表) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で自身で作文したものをしながら伝え合うことができる。	Unit9 Studying Japanese	・「〇〇は英語では何と言いますか?」といった、外国語での言い方を尋ねる表現を知る ・5W1Hの文の表現の仕方を知る。肯定文との違いを理解する
	2	(学・人) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知り、習った表現を使って積極的に質問をしようとする。	(学・人) ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知り、習った表現を使って積極的に質問をしようとする。	Halloween Thanksgiving クリスマス	・Halloween、Thanksgiving、クリスマスにおける文化的な背景を知り、日本との違いを理解する
	2			Unit10 Future plans and dreams	・「・・・したい」「・・・することが好きだ」といった、動詞の目的語としてto不定詞や動名詞をとる表現について知る ・自分の好きなこと、将来したいことを自分の言葉で作文する。ペアになって質問・応答をしあう
3 学期	3	(知及技) ・やりたいことや身近なことについて傾出する表現については文字を見なくても口に出すことができる。	(知・技) ・やりたいことや身近なことについて傾出する表現については文字を見なくても口に出すことができる。	Unit11 New Year's in Japan	・“What is this?” - “This is ～.”などの、質問とそれに対する応答の表現を知る(単数・複数) ・身の回りの物や絵で見たものについて、上記の表現を用いて会話練習を行う
	5	(思判表力) ・身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたりそれに答えたりして伝えあうことができる。 (学・人) ・学習した表現を応用して、自分なりの表現をすることができる。	(思・判・表) ・身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝えあうことができる。 (主学) ・学習した表現を応用して、自分なりの表現をすることができる。		
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 3年 外国語(英語) 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	3学年		くらしに役立つ英語 (東洋館出版社)

目標: (知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションに関わる基礎的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) ・未来を予定する表現やお願いする時に使う表現を理解することができる。 ・時制の表現の仕方を理解できる。 (思判表力) ・学んだ会話表現の一部を変えて、状況に応じた会話文を作文したり、発音したり、書いて伝えることができる。	(知・技) ・未来を予定する表現やお願いする時に使う表現を理解できている。 ・時制の表現の仕方を理解できている。 (思・判・表) ・学んだ会話表現の一部を変えて、状況に応じた会話文を作文したり、発音したり、書いて伝えることができる。 (主学) ・学んだ会話表現をどのように活用できるか身近な状況よりイメージしながら学習に取り組むことができる。	簡単な自己紹介文 1 年 2 年で学習したこと の復習	・外国語の背景にある文化に対する理解を深める ・簡単な自己紹介文を作成し発表する ・1. 2年生で習ったことを復習する(be動詞・一般動詞、現在形・過去形、否定形・疑問形)
	5			Unit12 Leaving Japan	・I will ～の未来を予定する表現を知る ・現在形との文法の違いを知る ・ペアになって、互いに質問応答をし合ってみる
	5			Unit13 Email exchange	・Emailを書く時の書式を知る ・be going to～を使って近い未来の決まっている予定を話すときや聞くときの表現を学ぶ ・ペアになって、作文したメールを交換する
2 学期	5	(知及技) ・異なる時制による表現の違いや文法を理解できる。 ・場面に応じて要件を伝える様々な表現を理解できる。 (思判表力) ・場面に応じて伝えようとする内容を整理した上で、その状況にあった語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	(知・技) ・異なる時制による表現の違いや文法を理解できている。 ・場面に応じて要件を伝える様々な表現を理解できている。 (思・判・表) ・場面に応じて伝えようとする内容を整理した上で、その状況にあった語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 (主学) ・積極的に質問をしたり他者に配慮しながら伝えたり、異文化や日本との違いを知ろうとすることができる。	Unit14 Arriving a hotel	・Have a nice dayなどの会話の終わりに使う様々なあいさつの表現を知る ・Could you/Would youなどのお願ひする時に使う表現をペアで質問しあう
	5			Unit15 Meeting again	・自分の知り合いを人に紹介するときの表現を知る ・ペアになって紹介する時の表現を口に出して練習する ・現在形/過去形/未来形の文法の違いを理解する
	2			Halloween Thanksgiving クリスマス	・Halloween、Thanksgiving、クリスマスにおける文化的な背景を知り、日本との違いを理解する
	2			Unit16 Going to an American restaurant	・レストランで使える表現を知る ・食後の感想を伝える様々な表現の発音練習をする ・ペアになって、店員さんとお客さんを演じ、注文する際の会話表現の実践練習をする
3 学期	3	(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現について日本語との違いを知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを用いて表現ができる。	(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現について日本語との違いを知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを用いて表現ができる。 (学・人) ・学習した表現を応用して、自分なりの表現をすることができる。		
	5			Unit19 Invitation to a party	・招待状を書くときに使える表現を知る ・外国語で期日/時間/場所の示し方を理解する ・招待状を書いてみる
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1 年 情報 年間指導計画

配当時数	生徒	教科書／副教材
35	1 学年 9・10 組	教科書 日本文教出版 情報 I 図解と実習

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) ・SNSの利便性について具体的に理解することができる。コンピュータの利用開始・終了の一連の手順について操作を身に付けることができる。個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解することができる。 (思判表力) ・SNSの長所・短所や情報セキュリティについてリスクを考えることができる。パスワードを設定することができる。 (学・人) ・SNSとインターネットの利用や情報社会の問題とセキュリティ対策について自分の考えを深めることができる。	(知・技) ・SNSの利便性について具体的に理解することができる。コンピュータの利用開始・終了の一連の手順について操作を身に付けることができる。個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解することができる。 (思・判・表) ・SNSの長所・短所や情報セキュリティについてリスクを考えることができる。パスワードを設定することができる。 (主学) ・SNSとインターネットの利用や情報社会の問題とセキュリティ対策について自分の考えを深めることができる。	情報社会とわたしたち SNSの普及とモラル 情報社会とは 大切な情報を守るために 表計算ソフトの活用	・SNSの普及とモラルについて学ぶ ・情報社会について学ぶ ・パスワード設定について学ぶ ・エクセルの活用を学ぶ
	5	(知及技) ・個人情報や知的財産などは法律によって扱いが定められていることを理解することができる。情報通信技術の発達による社会の変化について理解することができる。 (思判表力) ・情報の特性について説明することができる。情報通信技術によって豊かな社会を持続するためにどうすればよいか考えることができる。 (学・人) ・身近な事例をもとに、個人情報などについて考えようとしている。著作物を利用することができる。生活の中で情報通信技術を活用することができる。	(知・技) ・個人情報や知的財産などは法律によって扱いが定められていることを理解することができる。情報通信技術の発達による社会の変化について理解することができる。 (思・判・表) ・情報の特性について説明することができる。情報通信技術によって豊かな社会を持続するためにどうすればよいか考えることができる。 (主学) ・身近な事例をもとに、個人情報などについて考えようとしている。著作物を利用することができる。生活の中で情報通信技術を活用することができる。	情報社会とわたしたち 情報社会を支える法律 情報通信技術で変わる社会 学期のまとめ PC基本操作	・情報社会を支える法律について学ぶ ・情報通信技術で変わる社会について学ぶ ・学期のまとめを行う ・PCのアプリの活用
2 学期	7	(知及技) ・メディアの進化とメディアの特徴、ネットワーク上のコミュニケーションについて理解することができる。情報デザインの基本を学ぶ。 (思判表力) ・コミュニケーションについて気をつけるべきこと、ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができる。 (学・人) ・コミュニケーションの変化や社会に与える影響について自分の考えを深めることができる。	(知・技) ・メディアの進化とメディアの特徴、ネットワーク上のコミュニケーションについて理解している。情報デザインの基本を学ぶことができる。 (思・判・表) ・コミュニケーションについて気をつけるべきこと、ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができる。情報デザインについて工夫することができる。 (主学) ・コミュニケーションの変化や社会に与える影響について自分の考えを深めようとしている。	コミュニケーションと情報デザイン コミュニケーションとメディアの変遷 コミュニケーション手段の多様化 インターネットコミュニケーションの特徴 ソーシャルメディアの活用と注意点 PCの活用	・コミュニケーションとメディアの変遷について学ぶ ・コミュニケーション手段の多様化について学ぶ ・インターネットコミュニケーションの特徴について学ぶ ・ソーシャルメディアの活用と注意点について学ぶ ・PCを活用する
	7	(知及技) ・アイパッドの基本設定や情報の伝え方について理解することができる。 (思判表力) ・情報を伝えるための工夫や目的に適した手段について考えることができる。 (学・人) ・情報の表現の違いによってどのように印象が変わるか、工夫をしながら考えることができる。情報デザインについてまとめることができる。	(知・技) ・アイパッドの基本設定や情報の伝え方について理解することができる。 (思・判・表) ・情報を伝えるための工夫や目的に適した手段について考えることができる。 (主学) ・情報の表現の違いによってどのように印象が変わるか、工夫をしながら考えることができる。情報デザインについてまとめることができる。	ICT機器の設定 情報デザイン iPadの設定 画像のデジタル化 検索学習（職業について） 学期のまとめ	・iPadの設定を行う ・情報デザイン ・画像のデジタル化 ・検索学習（職業について） ・学期のまとめ

3 学 期	8	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みについて理解する。 (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。 (学・人) ・目的に応じてコンピュータや情報通信ネットワークを主体的に活用することができる。	(知・技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための方法について理解している。 (思・判・表) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。 (主学) ・目的に応じてコンピュータや情報通信ネットワークを主体的に活用することができる。	情報通信ネットワークのしくみ 家庭のLANの構築 imovieの利用 情報モラル 学習のまとめ	・家庭のLANの構築について学ぶ ・imovieの利用を行う ・情報モラルについて考える ・学習のまとめを行う
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 3年 情報 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	3学年 9・10組		教科書 日本文教出版 情報Ⅰ 図解と実習

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) ・SNSの利便性について具体的に理解することができる。コンピュータの利用開始・終了の一連の手順について操作を身に付けることができる。個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解することができる。 (思判表力) ・SNSの長所・短所や情報セキュリティについてリスクを考えることができる。パスワードを設定することができる。 (学・人) ・SNSとインターネットの利用や情報社会の問題とセキュリティ対策について自分の考えを深めることができる。	(知・技) ・SNSの利便性について具体的に理解することができる。コンピュータの利用開始・終了の一連の手順について操作を身に付けることができる。個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解することができる。 (思・判・表) ・SNSの長所・短所や情報セキュリティについてリスクを考えることができる。パスワードを設定することができる。 (主学) ・SNSとインターネットの利用や情報社会の問題とセキュリティ対策について自分の考えを深めることができる。	情報社会とわたしたち SNSの普及とモラル 検索の学習 情報社会とは 大切な情報を守るために 表計算アプリの使い方	・SNSの普及とモラル ・職業について調べる ・情報社会について学ぶ ・パスワードの設定を学ぶ ・ICT機器の活用 ・iPadアプリの利用
	5	(知及技) ・個人情報や知的財産などは法律によって扱いが定められていることを理解することができる。情報通信技術の発達による社会の変化について理解することができる。 (思判表力) ・情報の特性について説明することができる。情報通信技術によって豊かな社会を持続するためにどうすればよいか考えることができる。 (学・人) ・身近な事例をもとに、個人情報などについて考えることができる。著作物を利用することができる。生活の中で情報通信技術を活用することができる。	(知・技) ・個人情報や知的財産などは法律によって扱いが定められていることを理解することができる。情報通信技術の発達による社会の変化について理解することができる。 (思・判・表) ・情報の特性について説明することができる。情報通信技術によって豊かな社会を持続するためにどうすればよいか考えることができる。 (主学) ・身近な事例をもとに、個人情報などについて考えようとしている。著作物を利用することができる。生活の中で情報通信技術を活用することができる。	情報社会とわたしたち 情報社会を支える法律 情報通信技術で変わる社会 学期のまとめ	・情報社会を支える法律について学ぶ ・情報通信技術について学ぶ ・学期のまとめ ・ICT機器の活用 ・iPadアプリの利用
2 学期	7	(知及技) ・メディアの進化とメディアの特徴、ネットワーク上のコミュニケーションについて理解することができる。 (思判表力) ・コミュニケーションについて気をつけるべきこと、ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができる。 (学・人) ・コミュニケーションの変化や社会に与える影響について自分の考えを深めることができる。	(知・技) ・メディアの進化とメディアの特徴、ネットワーク上のコミュニケーションについて理解している。 (思・判・表) ・コミュニケーションについて気をつけるべきこと、ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができる。 (主学) ・コミュニケーションの変化や社会に与える影響について自分の考えを深めようとしている。	コミュニケーションと情報デザイン コミュニケーションとメディアの変遷 コミュニケーション手段の多様化 ・インターネットコミュニケーションの特徴 ソーシャルメディアの活用と注意点	・コミュニケーションとメディアの変遷について学ぶ ・コミュニケーション手段の多様化について学ぶ ・インターネットコミュニケーションの特徴について学ぶ ・ソーシャルメディアの活用と注意点について学ぶ ・文書デザイン検定演習 ・ICT機器の活用 ・iPadアプリの利用
	7	(知及技) ・iPadの操作や情報の伝え方について理解することができる。 (思判表力) ・情報を伝えるための工夫や目的に適した手段について考えることができる。 (学・人) ・情報の表現の違いによってどのように印象が変わるか、工夫をしながら考えることができる。	(知・技) ・iPadの基本設定や情報の伝え方について理解することができる。 (思・判・表) ・情報を伝えるための工夫や目的に適した手段について考えることができる。 (主学) ・情報の表現の違いによってどのように印象が変わるか、工夫をしながら考えることができる。	ICT機器の設定 情報デザイン 文書デザイン演習 画像のデジタル化 学期のまとめ	・iPadの活用 ・情報デザインについて学ぶ ・画像のデジタル化について学ぶ ・学期のまとめ ・ICT機器の活用 ・iPadアプリの利用

3 学 期	8	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みについて理解する。 (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。 (学・人) ・目的に応じてコンピュータや情報通信ネットワークを主体的に活用することができる。	(知・技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための方法について理解している。 (思・判・表) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する方法について考えることができています。 (主学) ・目的に応じてコンピュータや情報通信ネットワークを主体的に活用することができている。	情報通信ネットワークのしくみ 学習のまとめ 文書デザイン演習	・家庭のLANの構築について考える ・imovieの利用 ・iPadの設定 ・学習のまとめ ・文書デザイン検定演習
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1 年 芸術（書道Ⅰ） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
70	1 学年		東京書籍 書道Ⅰ

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (思・判・表) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (学・人) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	(知・技) ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。 (学・人) ・「表現の手がかり」として臨書する。	(知・技) ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解している。 (主学) ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書 (楷書の学習①)	・道具の準備、片付け ・楷書の代表的な古典作品を臨書する。 ・ワークシートを記入する。
	10	(思・判・表) ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫する。 (学・人) ・「表現の手がかり」として臨書する。	(思・判・表) ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫している。 (主学) ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書 (楷書の学習②)	・道具の準備、片付け ・学習した古典の中から1つ選んで、作品の特徴をまとめ、臨書作品として仕上げる。 ・ワークシートを記入する。
2 学期	14	(知・技) ・行書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。 (思・判・表) ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫する。 (学・人) ・「表現の手がかり」として臨書する。	(知・技) ・行書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解している。 (思・判・表) ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫している。 (主学) ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書 (行書の学習)	・道具の準備、片付け ・行書の代表的な古典作品を臨書する。 ・ワークシートを記入する。
	4	(知・技) ・隷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。 (学・人) ・「表現の手がかり」として臨書する。	(知・技) ・隷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解している。 (主学) ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書 (隷書の学習)	・道具の準備、片付け ・隷書の基本的な線を練習する。 ・隷書の代表的な古典作品を臨書する。 ・ワークシートを記入する。
	10	(思・判・表) ・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を活かして、創作する。 (学・人) ・これまでの学習を活かし、作品完成に向けて主体的に取り組む。	(思・判・表) ・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を活かして、創作している。 (主学) ・これまでの学習を活かし、作品完成に向けて主体的に取り組んでいる。	漢字の書 (倣書)	・道具の準備、片付け ・学習した古典の中から1つ選んで、作品の特徴をまとめ、臨書作品として仕上げる。 ・ワークシートを記入する。
3 学期	6	(知・技) ・仮名の成立と変遷を理解する。 ・仮名の用具用材の特徴を理解する。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 (学・人) ・「表現の手がかり」として臨書する。	(知・技) ・仮名の成立と変遷を理解している。 ・仮名の用具用材の特徴を理解している。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習している。 (主学) ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	仮名の書	・道具の準備、片付け ・仮名の基本的な線を練習する。 ・仮名の代表的な古筆作品を臨書する。 ・ワークシートを記入する。
	10	(知・技) ・漢字仮名交じりの書の変遷を理解する。 ・古典の特徴を活かしたり、用具用材を変えたりすることで、表現に変化を付けられる事を理解する。 (思・判・表) ・書き方の工夫によってさまざまな表現ができる事を理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうかを考える。 (学・人) ・自分なりの表現を楽しむ。	(知・技) ・漢字仮名交じりの書の変遷を理解している。 ・古典の特徴を活かしたり、用具用材を変えたりすることで、表現に変化を付けられる事を理解している。 (思・判・表) ・書き方の工夫によってさまざまな表現ができる事を理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうかを考えている。 (主学) ・自分なりの表現を楽しんでいる。	漢字仮名交じりの書	・道具の準備、片付け ・代表的な作品を鑑賞する。 ・さまざまな表現方法を体験する。 ・書きたい言葉を考える。 ・意図に合うように作品の構想を練る。 ・ワークシートを記入する。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 2 年 芸術（書道） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	2 学年		東京書籍 書道 I

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 （学・人） 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	（知及技） ・書表現の一分野としての篆刻を理解する。 ・落款の目的や意味を理解する。 （学・人） ・落款印を完成させ、達成感を味わう。	（知・技） ・書表現の一分野としての篆刻を理解している。 ・落款の目的や意味を理解している。 （主学） ・落款印を完成させようとしている。	篆刻	・道具の準備、片付け ・印稿作成 ・落款印作成 ・ワークシートの記入
	5	（知及技） ・伝えるための書き方について理解する。 ・実用的な書式を理解する。 （学・人） ・丁寧に課題に取り組むことができる。	（知・技） ・伝えるような書き方をしている。 ・実用的な書き方をしている。 （主学） ・丁寧に課題に取り組んでいる。	実務書道（伝える書）	・ひらがなの書き方 ・縦書き・横書きの留意点 ・速く正確に書き写す ・掲示物を書く ・硬筆書写検定 4 級の練習問題
	3	（思判表力） ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫する。 （学・人） ・「表現の手がかり」として臨書する。	（思・判・表） ・古典の特徴を表現するために、表現を工夫している。 （主学） ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書（半切作品）	・道具の準備、片付け ・コンクール向けの作品制作 ・ワークシートの記入
2 学期	4	（知及技） ・隷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。 （学・人） ・「表現の手がかり」として臨書する。	（知・技） ・隷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解している。 （主学） ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	漢字の書（隷書の学習）	・道具の準備、片付け ・隷書の基本的な線を練習 ・隷書の代表的な古典作品を臨書 ・ワークシートを記入
	5	（知及技） ・甲骨文の形や漢字の成り立ちについて理解する。 （思判表力） ・限られた紙面に構成を工夫しながら絵手紙を完成させる。 （学・人） ・文字のいろいろな形や成り立ちについて興味を持つ。	（知・技） ・甲骨文の形や漢字の成り立ちについて理解している。 （思・判・表） ・限られた紙面に構成を工夫しながら絵手紙を完成させている。 （主学） ・文字のいろいろな形や成り立ちについて興味を持っている。	漢字の書（絵手紙）	・道具の準備、片付け ・甲骨文の形を字書で調べる ・甲骨文の文字を使って絵手紙を作成 ・ワークシートを記入
	5	（知及技） ・般若心経について理解し、練習する。 （学・人） ・最後まで丁寧に仕上げる。	（知・技） ・般若心経の書式や目的など理解している。 （主学） ・完成に向けて主体的に取り組んでいる。	小楷書	・道具の準備、片付け ・写経
3 学期	3	（知及技） ・仮名の成立と変遷を理解する。 ・仮名の用具用材の特徴を理解する。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。 （学・人） ・「表現の手がかり」として臨書する。	（知・技） ・仮名の成立と変遷を理解している。 ・仮名の用具用材の特徴を理解している。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解している。 （主学） ・「表現の手がかり」となるよう臨書している。	仮名の書	・道具の準備、片付け ・仮名の基本的な線を練習する。 ・仮名の代表的な古筆作品を臨書する。 ・ワークシートを記入する。
	3	（知及技） ・漢字仮名交じりの書の変遷を理解する。 ・古典の特徴を生かしたり、用具用材を変えたりすることで、表現に変化を付けられる事理解する。 （思判表力） ・書き方の工夫によってさまざまな表現ができる事理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうかを考える。 （学・人） ・自分なりの表現を楽しむ。	（知・技） ・漢字仮名交じりの書の変遷を理解している。 ・古典の特徴を生かしたり、用具用材を変えたりすることで、表現に変化を付けられる事理解している。 （思・判・表） ・書き方の工夫によってさまざまな表現ができる事理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうかを考えている。 （主学） ・自分なりの表現を楽しんでいる。	漢字仮名交じりの書	・道具の準備、片付け ・代表的な作品を鑑賞する。 ・さまざまな表現方法を体験する。 ・書きたい言葉を考える。 ・意図に合うように作品の構想を練る。 ・ワークシートを記入する。
	2	（知及技） ・作品表装について理解する。 （学・人） ・パネル作成の作業を丁寧にを行い、作品を完成させる。	（知・技） ・作品表装について理解している。 （主学） ・パネル作成の作業を丁寧にを行い、作品を完成させている。	パネル作成	・道具の準備、片付け ・裏打ち（作品装丁） ・パネル作成
留意点 引継ぎ等		【留意点】 個々の理解度に応じて、個別に作業の確認や説明の補足を適宜行っていく。			

令和6年度 1年 郷土文化 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
70	1学年		なし（適宜プリント等を配布）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		エイサー、三線、琉球舞踊、空手等の活動を通して、郷土の文化や歴史への興味・関心を育てるとともに、自ら学ぶ意欲、態度を身につける。 （知及技） 郷土の文化について理解するとともに、基本的所作や奏法を身に付けるようにする。 （思判表力） 沖縄独特の音楽や芸能の豊かさに気づき、郷土の文化に対する見方・感じ方・表現の仕方を深める。 （学・人） 多様な経験を通して、郷土の文化や歴史に・関心を持ち、自主的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	（知及技） ・エイサーの楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	（知・技） ・エイサーの楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	エイサー基礎 「テンヨー節」等	・基本動作の確認（バチ回し、しこだち等） ・各曲の動きをステップごとに学習する。鏡を使って手足の動きや左右の動きを細かく確認する。
	6	（知及技） ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	（知・技） ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	琉球舞踊基礎 ・歩み練習 ・基本所作 「安里屋ゆんた」等	・基本的な姿勢や動き、所作を学ぶ。（歩み、こねり手等） ・各曲の動きをステップごとに学習する。鏡を使って手足の動きや左右の動きを細かく確認する。
	13	（知及技） ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 （思判表力） ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	（知・技） ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 （思・判・表） ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 （主学） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	三線基礎 ・各部の名称 ・工工四の読み方 「きらきらぼし」等	・実技やプリント等で三線の各部の名称、基本的な奏法、工工四の読み方を知る。 ・簡易曲を練習する。三線と歌を別に練習し、できるようになったら弾き語りに挑戦する。
	7	（知及技） ・エイサーの楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	（知・技） ・エイサーの楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考える、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	美ら島エイサー	・各曲の動きを知る。 ・入退場など、隊形移動の仕方を知る。 ・囃子を言いながら演じる。 ・自分たちの演技をビデオに撮り、鑑賞する。良かった点や改善点を記入する。

2 学 期	7	(知及技) ・ 琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・ 自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (学・人) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	(知・技) ・ 琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・ 自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	貫花遊び	・ 貫花の扱いなど基本動作や各曲の動きを知る。 ・ 入退場など、隊形移動の仕方を知る。 ・ 自分たちの演技をビデオに撮り、鑑賞する。良かった点や改善点を記入する。
	14	(知及技) ・ 三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・ 曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	(知・技) ・ 三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・ 曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	三線・沖縄の歌 「ていんさぐぬはな」 「じんじん」等	・ 動画を鑑賞し、感想や分かったことをプリントに記入する。 ・ 沖縄の歌を歌ったり、リズムを取る。 ・ 三線の各部の名称や基本的な奏法を確認する。 ・ 課題曲を練習する。歌いながら弾けるよう、段階毎の楽譜を用意する。
3 学 期	8	(知及技) ・ 琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・ 自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (学・人) ・ 積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・ 琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・ 自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・ 積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	「かぎやで風」 衣装の着付け(女踊り)	・ 教師の模範を見て実技練習を行う。 ・ グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・ 鏡を使って手足の動き等を確認する。
	8	(知及技) ・ 三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・ 曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	(知・技) ・ 三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・ 曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・ 積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、用具の準備や安全に留意することができる。	三線・沖縄の歌 「海の声」等	・ 課題曲を練習する。歌いながら弾けるよう、段階毎の楽譜を用意する。
留意点 引継ぎ等		・ 2学期は12月の自主公演にむけた取り組みが入る可能性有り			

令和6年度 2年 郷土文化 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
70	2学年		なし（適宜プリント等を配布）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		エイサー、三線、琉球舞踊、空手等の活動を通して、郷土の文化や歴史への興味・関心を育てるとともに、自ら学ぶ意欲、態度を身につける。 （知及技） 郷土の文化について理解するとともに、基本的所作や奏法を身に付けるようにする。 （思判表力） 沖縄独特の音楽や芸能の豊かさに気付き、郷土の文化に対する見方・感じ方・表現の仕方を深める。 （学・人） 多様な経験を通して、郷土の文化や歴史に・関心を持ち、自主的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	（知及技） ・エイサーや琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	（知・技） ・エイサーや琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	貫花遊びと美ら島エイサー	・基本的な姿勢や動き、所作を確認する。（パチ回し、しこだち、貫花の扱い等） ・各曲の動きをステップごとに学習する。鏡を使って手足の動きや左右の動きを細かく確認する。
	8	（知及技） ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	（知・技） ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	琉球舞踊「浜千鳥」創作舞踊「夢南瓜」等	・基本的な姿勢や動き、所作を学ぶ。（歩み、こねり手等） ・各曲の動きをステップごとに学習する。鏡を使って手足の動きや左右の動きを細かく確認する。
	13	（知及技） ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 （思判表力） ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	（知・技） ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 （思・判・表） ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 （主学） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	三線・沖縄の歌 ・三味線との違い ・三線の歴史 「安波節」「さとうきび畑」「ていんさぐぬ花」等	・実技やプリント等で三線の各部の名称、基本的な奏法等を確認する。 ・歌いながら弾けるよう、段階毎の楽譜を用意する。 ・動画等を見ながらワークシートを記入する。
2学期	14	（知及技） ・エイサーや琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （学・人） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	（知・技） ・エイサーや琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 （主学） ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	貫花遊びと美ら島エイサー	・基本動作や各曲の動きを確認する。 ・入退場など、隊形移動の仕方を知る。 ・囃子を言いながら演じる。 ・自分たちの演技をビデオに撮り、鑑賞する。良かった点や改善点を記入する。

学期	14	(知及技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	三線・沖縄の歌 「安里屋ゆんた」「ウージで町興し」「夢南瓜」等	・動画を鑑賞し、感想や分かったことをプリントに記入する。 ・沖縄の歌を歌ったり、リズムを取る。 ・課題曲を練習する。歌いながら弾けるよう、段階毎の楽譜を用意する。 ・スライド等で郷土の作曲家について知る。 ・歌えるようになぐちの発音練習等にも取り組む
3 学期	4	(知及技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	空手基礎 「普及型Ⅱ」等	・基本的な姿勢や動き、型・所作を学ぶ。 ・動きや掛け声を周囲と合わせる。
	6	(知及技) ・着付け等の仕方や舞台マナーについて理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・沖縄独特の音楽や芸能の豊かさに気付き、郷土の文化に対する見方・感じ方・表現の仕方を深める。 (学・人) ・舞台発表に向けた練習を通して、郷土の文化や歴史に・関心を持ち、自主的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。	(知・技) ・着付け等の仕方や舞台マナーについて理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・沖縄独特の音楽や芸能の豊かさに気付き、郷土の文化に対する見方・感じ方・表現の仕方を深めている。 (主学) ・舞台発表に向けた練習を通して、郷土の文化や歴史に・関心を持ち、自主的に学ぶ意欲と態度を身に付けている。	舞台発表に向けて	・発表する演技の練習 ・リハーサルを通し、舞台での動き方、本番の流れを確認する。
	6	(知及技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	三線・沖縄の歌 「唐船どーい」等	・課題曲を練習する。歌いながら弾けるよう、段階毎の楽譜を用意する。 ・学級内発表会にむけて選曲し、練習する。 ・自分たちの演技を鑑賞し、1年の成長を振り返る。
留意点 引継ぎ等	・舞台発表の時期により単元へ取り組む時期が入れ替わる事がある。 ・12月自主公演にむけた取り組みが入る可能性有り ・3月卒業式に参加予定				

令和6年度 3年 郷土文化 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
70	3 学年		適宜プリント等を配布

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		エイサー、三線、琉球舞踊、空手等の活動を通して、郷土の文化や歴史への興味・関心を育てるとともに、自ら学ぶ意欲、態度を身につける。 (知及技) 郷土の文化について理解するとともに、基本的所作や奏法を身に付けるようにする。 (思判表力) 沖縄独特の音楽や芸能の豊かさに気づき、郷土の文化に対する見方・感じ方・表現の仕方を深める。 (学・人) 多様な経験を通して、郷土の文化や歴史に・関心を持ち、自主的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	①空手道・古武道の歴史 ②立礼、座礼、立ち方 ③空手基本動作 (突き・蹴り・受け) ④空手形 (個人・団体) ア) 普及形Ⅰ イ) 普及形Ⅱ ⑤古武道 ア) 棒の基本動作	・模範演技を真似て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。
		(知及技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	・三線音楽の基本 ・工工四の読み方 ・琉球民謡 ①発声 ②楽器の特徴 ③詩形の特徴 ・組踊や琉球舞踊の鑑賞 ・課題曲「デンサー節」 「涙そうそう」「安波節」等	・課題曲を練習する。歌と三線を分けて練習し、最終的に歌いながら弾けるよう支援する。
		(知及技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	オリエンテーション 歩み練習 基本所作 稽古着の着方 琉球舞踊の学習 ①かざやで風 ②谷茶前 実技試験	・教師の模範を見て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。
		(知及技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	①基本動作 ②空手形 分解 ア) 普及形Ⅰ イ) 普及形Ⅱ ③空手形 ア) セーバイ イ) 完子 ④古武道 ア) 棒の基本動作 イ) 棒の形：周氏の棍	・模範演技を真似て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。

2 学 期	28	(知及技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	・古典音楽 ・宮廷芸能の鑑賞 ・沖縄の器楽（箏・笛・胡弓・太鼓・三板） ・課題曲「安里屋ゆんた」「ウージで町興し」「夢南瓜」等	・課題曲を練習する。歌と三線を分けて練習し、最終的に歌いながら弾けるよう支援する。 ・沖縄の歌を歌ったり、三板でリズムを取る。
		(知及技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	琉球舞踊の学習 ①かぎやで風 ②夢南瓜 ③真花遊びと美ら島イサー 琉装に挑戦する 実技試験	・教師の模範を見て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。
3 学 期	16	(知及技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・空手の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	①基本動作 ②空手形（個人・団体） ア）セーパイ イ）完子和 ③空手形の分解（団体） ア）セーパイ イ）完子和 ④古武道 ア）棒の基本動作 イ）棒形：周氏の棍 ウ）釵の基本技能 ⑤クラス発表会	・模範演技を真似て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。 ・クラス発表会にむけて練習する。 ・自分たちの演技を鑑賞し、1年の成長を振り返る。
		(知及技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・三線の基本的な扱いを理解し、簡単な楽譜を見て演奏できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・曲想にふさわしい表現をしようという思いや意図をもつことや、音色や音楽を味わって聴くことができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	・沖縄ポップス ・創作曲 ・1年間のまとめ ・クラス発表会 ・課題曲「かぎやで風節」「島人ぬ宝」等	・課題曲を練習する。歌いながら弾けるよう繰り返し練習する。 ・クラス発表会にむけて選曲し、練習する。 ・自分たちの演技を鑑賞し、1年の成長を振り返る。
		(知及技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (学・人) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	(知・技) ・琉舞の楽しさを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫することができる。 (主学) ・積極的に取り組み、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保することができる。	琉球舞踊の学習 ①かぎやで風 ②谷茶前 1年間で学習した曲 1年間のまとめ クラス発表会	・教師の模範を見て実技練習を行う。 ・グループ練習や個人練習を通して、難しい動きの習得を目指す。 ・鏡を使って手足の動き等を確認する。 ・クラス発表会にむけて練習する。 ・自分たちの演技を鑑賞し、1年の成長を振り返る。
留意点 引継ぎ等		* 南風原高校3年の選択科目との合同授業。生徒たちは空手、三線、琉球舞踊の3グループに分かれ、1年を通して同じものを学ぶ。			

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
140	高等部1年9組、1年10組		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 清掃に必要な用具や業務用機械等を使って、基本作業の技術を身につける。 (思判表力) 共同作業や役割分担を通して効率的な取り組み方や安全な取り組み方等を考え、実践する態度や能力を身に付ける。 (学・人) 清掃の技術や知識を生かし、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	16	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴について知ることができる。 (思判表力) ・よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。 (学・人) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴について知っている。 (思・判・表) ・よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。 (主学) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的に取り組むことができる。	清掃業務の内容の概要と特徴	清掃業務 ・清掃の目的 ・清掃の基本 ・サービス精神とマナー
	40	(知及技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できるようにする。 (思判表力) ・よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。 (学・人) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できている。 (思・判・表) ・よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。 (主学) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的に取り組むことができる。	清掃用具の使用方法 清掃場所に応じた清掃方法の選択	清掃道具の使い方 ・ガラス清掃 ・ほうき、モップ ・ダストクロス ・集塵機 ・ポリッシャー 清掃道具の選択 ・清掃場所の材質、環境の把握 ・清掃道具の特徴 ・洗剤、薬剤について（ワックス、剥離剤等）
	48			効率的な手順や役割分担の選択	ガラス清掃 教室清掃 ・テーブル拭き、モップ、ダストクロスを活用した清掃 洗車作業 ・車内清掃 ・車外清掃 トイレ清掃
	12	(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について知ることができる。	(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について知っている。	清掃道具、機械、機器の安全点検、異常時の対応	清掃道具について ・道具の整理整頓 ・適切な保管方法 ・機器、機械の保守点検
	24	(知及技) ・清掃に関する事柄について知り、清掃に係わる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・清掃に必要な事柄を見いだし、実践し表現する。	(知・技) ・清掃に関する事柄について知り、清掃に係わる技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・清掃に必要な事柄を見いだし、実践している。	技能検定等の各種資格等の取得と活用について	特別支援学校技能検定練習 ・ほうき ・テーブル拭き ・モップ ・ダスターモップ
留意点 引継ぎ等					

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
140	高等部2年9組、2年10組		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 清掃に必要な用具や業務用機械等を使って、基本作業の技術を身につける。 (思判表力) 共同作業や役割分担を通して効率的な取り組み方や安全な取り組み方等を考え、実践する態度や能力を身に付ける。 (学・人) 清掃の技術や知識を生かし、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	16	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴について理解することができる。 (思判表力) ・清掃業務において、サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。 (学・人) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴について理解している。 (思・判・表) ・清掃業務において、サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。 (主学) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	清掃業務の内容の概要と特徴	清掃業務 ・清掃の目的 ・清掃の基本 ・サービス精神とマナー
	28	(知及技) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	地域施設企業就労	校外清掃 ・サービス精神、マナー ・清掃実践
	26	(知及技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できる。 (思判表力) ・清掃業務において、清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。	(知・技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できている。 (思・判・表) ・清掃業務において、清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。	清掃用具の使用法 清掃場所に応じた清掃方法の選択	清掃道具の使い方 ・ガラス清掃 ・ほうき、モップ ・ダストクロス ・集塵機 ・ポリッシャー 清掃道具の選択 ・清掃場所の材質、環境の把握 ・清掃道具の特徴 ・洗剤、薬剤について（ワックス、剥離剤等）
	36	(学・人) ・清掃業務の内容とについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(主学) ・清掃業務の内容について自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	効率的な手順や役割分担の選択	ガラス清掃 教室清掃 ・テーブル拭き、モップ、ダストクロスを活用した清掃 洗車作業 ・車内清掃 ・車外清掃 トイレ清掃 カフェ会場準備、設営
	16	(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について理解することができる。	(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について理解している。	清掃道具、機械、機器の安全点検。異常時の対応。	清掃道具について ・道具の整理整頓 ・適切な保管方法 ・機器、機械の保守点検
	18	(知及技) ・清掃に関する事柄について理解し、清掃に係わる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・清掃に必要な事柄を見いだし、実践を評価・改善し表現する。	(知・技) ・清掃に関する事柄について理解し、清掃に係わる技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・清掃に必要な事柄を見いだし、実践を評価・改善し表現している。	技能検定等の各種資格等の取得と活用について	特別支援学校技能検定練習 ・ほうき ・テーブル拭き ・モップ ・ダスターモップ アビリンピックについて
留意点 引継ぎ等					

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
140	高等部3年9組、3年10組		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 清掃に必要な用具や業務用機械等を使って、基本作業の技術を身につける。 (思判表力) 共同作業や役割分担を通して効率的な取り組み方や安全な取り組み方等を考え、実践する態度や能力を身に付ける。 (学・人) 清掃の技術や知識を生かし、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	8	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴について理解することができる。 (思判表力) ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴について理解している。 (思・判・表) ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。 (主学) ・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	清掃業務の内容の概要と特徴	清掃業務 ・清掃の目的 ・清掃の基本 ・サービス精神とマナー
	32	(学・人) ・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(主学) ・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	地域施設企業就労	校外清掃 ・サービス精神、マナー ・清掃実践
	30	(知及技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できるようにする。 (思判表力) ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。	(知・技) ・清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付け実践できている。 (思・判・表) ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現している。	清掃用具の使用方法 清掃場所に応じた清掃方法の選択	清掃道具の使い方 ・ガラス清掃 ・ほうき、モップ ・ダストクロス ・集塵機 ・ポリッシャー 清掃道具の選択 ・清掃場所の材質、環境の把握 ・清掃道具の特徴 ・洗剤、薬剤について（ワックス、剥離剤等）
	35	(学・人) ・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(主学) ・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	効率的な手順や役割分担の選択	ガラス清掃 教室清掃 ・テーブル拭き、モップ、ダストクロスを活用した清掃 洗車作業 ・車内清掃 ・車外清掃 トイレ清掃 カフェ会場準備、設営
	15	(知及技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について理解し、身に付ける。	(知・技) ・使用する道具や機械等の特性や扱い方及び適切な保守点検に関する技術について理解し、身に付けている。	清掃道具、機械、機器の安全点検、異常時の対応	清掃道具について ・道具の整理整頓 ・適切な保管方法 ・機器、機械の保守点検
	12	(知及技) ・清掃に関する事柄について理解を深めるとともに、清掃に係わる技能を身に付ける。 (思判表力) ・清掃に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し表現する力を養う。	(知・技) ・清掃に関する事柄について理解を深めるとともに、清掃に係わる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・清掃に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し表現している。	技能検定等の各種資格等の取得と活用について	特別支援学校技能検定練習 ・ほうき ・テーブル拭き ・モップ ・ダスターモップ アビリンピックについて
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1 年 流通サービス（オフィス実務）年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	1 学年 9・10 組		教科書 実教出版 商業701 ビジネス基礎 副教材 実教出版 ビジネスコミュニケーション検定テキスト

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通・サービスに関すること、コンピュータの基本操作に関連する技術を学ぶ。場面に応じた適切な接客方法、ビジネスマナーを学ぶ。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題について考える。コンピュータを活用し、場面に応じた効果的なアプリのケーションの利用について考える。 (学・人) 働く力の向上を目指して、コミュニケーションを図ることに主体的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	・通年の取り組み	・業務日誌の記入 ・本時の内容記入 ・挨拶練習
1 学期	13	(知及技) オフィス実務の科目について学ぶ。 (思判表力) ローマ字を意識した入力ができる。	(知・技) オフィス実務の科目について学んでいる。 (思・判・表) ローマ字を意識した入力ができる。	・オリエンテーション ・自己紹介 ・日誌作成 ・PCの基本操作	・業務日誌の作成 ・挨拶用語の練習 ・タイピング ・ファイルの保存・開く
		(知及技) ビジネスコミュニケーションに対する心構えを学ぶことができる。 (学・人) ビジネスコミュニケーションに対する心構えを理解し主体的に取り組む態度を養う。	(知・技) ビジネスコミュニケーションの知識を学ぶことができる。 (主学) ビジネスコミュニケーションに対する心構えを理解し主体的に取り組む態度を身に付けている。	・ビジネスマナー ・コミュニケーションの役割	・ビジネスマナーの役割 ・コミュニケーションの基礎 ・ロールプレイング ・入力練習
		(思判表力) 情報機器を活用して、文書内容によって必要な操作を使い分けることができる。	(思・判・表) 情報機器を活用して、文章内容によって必要な操作を考える事とそれらを表現することができる。	・情報機器の活用 ・学期のまとめ	・タイピング ・暑中見舞いカード ・1 学期のまとめ
2 学期	14	(知及技) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を学ぶ。	(知・技) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を学ぶことができる。	・流通・オフィス実務について ・表計算ソフトの活用 ・名刺について	・ワードソフトを利用して操作方法を学ぶ ・エクセルを利用して作成方法を学ぶ ・名刺のマナーについて学ぶ
		(思判表力) 職場実習を通して自分の課題について考えることができる。	(思・判・表) 職場実習を通して振り返り、お礼状について考えて書くことや自分の課題について考えることができる。	・ハガキ・封筒の宛名書き ・文章入力演習 ・電話の応対 ・名刺について	・ハガキ・封筒の宛名書きを学ぶ ・文章入力演習 ・電話応対・名刺についてのマナーを学ぶ
		(学・人) 実務における情報機器の重要性について学び、主体的に情報機器の活用を行うことができる。	(主学) 実務における情報機器活用の重要性について学び、主体的に情報機器の活用を行うことができる。	・情報機器の活用	・ワード・エクセルの活用 ・季節の手紙・カードの作成
3 学期	8	(知及技) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を学ぶ。	(知・技) 職業について学び、職業で必要な基本的な情報機器の操作を学ぶことができる。	・流通とサービス ・情報機器の活用	・流通・サービスについて学ぶ ・入力演習 ・タイピング ・タッチタイピングを意識する
		(学・人) これまでの学習を振り返り、自己評価を行い、次年度の目標を立てる。	(主学) これまでの学習を振り返り、自己評価を行うことができる。	・ビジネスマナー ・情報機器の活用 ・学習の振り返り	・接客について ・コンピュータを活用して文書作成を行う ・出来たことを確認し、次年度の目標を立てることができる

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和 6 年度 2年 流通・サービス（オフィス実務） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	2学年 9・10組		教科書 実教出版 商業701 ビジネス基礎 副教材 実教出版 ビジネスコミュニケーション検定テキスト

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通・サービスに関することについて理解し、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題について考え、課題解決の方法を学ぶとともに、職業人としての倫理観を学ぶ力を養う。 コンピュータを活用して、課題解決について考える。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性について考え、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	・通年の取り組み	・業務日誌の記入 ・本時の内容記入 ・挨拶練習 ・タイピング
1学期	13	(知及技) オフィス実務の学習について理解することができる。	(知・技) オフィス実務の学習について理解することができる。	・オリエンテーション ・自己紹介 ・日誌作成	・業務日誌の作成 ・10大用語の練習 ・タイピング
		(知及技) ビジネスコミュニケーションに対する心構えを理解することができる。	(知・技) ビジネスコミュニケーションに対する心構えを理解することができる。	・タイピング ・ビジネスマナーとコミュニケーション ・電話対応 ・ハガキ・封筒宛名書き	・正確さを意識したタイピング練習 ・10分間計測し、入力を行う（反復） ・お辞儀の角度を意識した練習 ・身だしなみを整える学習
		(学・人) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を理解し、主体的に活動を行うことができる。	(主学) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を理解し、主体的に活動を行う事ができている。	・情報機器の活用 ・文章入力演習	・ワードを活用し、ビジネス用文書作成について学ぶ（反復練習）
2学期	14	(知及技) 基本的なPC活用とビジネスマナーに関する基本的な知識を身につけることができる。	(知・技) 基本的なPC活用とビジネスマナーに関する基本的な知識を身につけることができる。	・情報機器の活用 ・表計算ソフト	・ワード・エクセルソフトを活用する
		(思判表力) PC活用とビジネスマナーの知識を基に、場面に応じた適切な表現をすることができる。	(思・判・表) PC活用とビジネスマナーの知識を基に、場面に応じた適切な表現をすることができる。	・報告書の作成 ・電話対応 ・名刺について	・プレゼンテーションソフトを活用し、報告書を作成する ・発表を行う ・電話応対について練習する ・名刺交換方法について練習する
		(学・人) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱い主体的に活用することができる。	(主学) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱い主体的に活用することができる。	・情報機器の活用 ・アプリケーションソフトの利用	・ワード・エクセルを活用して文章入力・計算方法などを学ぶ
3学期	8	(知及技) 職業生活に必要な情報機器の基本操作を学ぶ。 (思判表力) 接客について考え、タイミングを捉えることができる	(知・技) 職業について学び、職業に必要な基本的な情報機器の操作を学ぶことができる。 (思・判・表) 接客について工夫して取り組む	・季節の手紙 ・情報機器の活用 ・接客について	・ビジネス用手紙の例を学ぶ ・ワードソフトの活用 ・接客について互いに練習する
		(学・人) これまでの学習を振り返り、流通業やサービスに業に関する課題について考える態度を養う。	(主学) これまでの学習を振り返り、流通業やサービスに業に関する課題について考える態度を養っている。	・学習の振り返り	・一年間の学習について振り返り、PCを活用してまとめることができる
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 3年 流通・サービス（オフィス実務） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	3学年 9・10組		副教材 実教出版 ビジネスコミュニケーション検定テキスト 全商ビジネス文書実務検定試験問題集

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通・サービス・オフィス実務に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 場面に応じた適切な接客方法、ビジネスマナーを身につける。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 コンピュータを活用し、課題解決に効果的なアプリケーションソフトを考え表現する力を養う。 (学・人) 働く力の向上を目指して自ら学び、コミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	(知・技) 本時の内容について、活動に対する見通しを持つことができる。 (思判表力) 毎時の活動を決め、自分で考えて行動できるようにする。 (学・人) 定められた学習について主体的に取り組むことができる。	・通年の取り組み	・業務日誌の記入 ・挨拶練習 ・タイピング
1学期	13	(知及技) ビジネスに関する事柄について、関連する知識を身につけることができる。	(知・技) ビジネスに関する事柄について、関連する知識を身につけることができる。	・オリエンテーション ・自己紹介 ・挨拶のマナー ・Eメール	・業務日誌の作成 ・10大用語のあいさつ練習 ・お辞儀の角度を意識した練習 ・タイピング ・オフィス365・アウトLOOK活用
		(思判表力) ビジネスに関する事柄についての意義を理解し、場面に応じて適切に活動できる力を養うことができる。	(思・判・力) ビジネスに関する事柄についての意義を理解し、場面に応じて適切に活動できる力を養うことができる。	・タイピング ・ビジネス文書 ・電話対応 ・ビジネスとコミュニケーション	・ワードの活用 ・正確さを意識したタイピング練習 ・10分間計測し、入力を行う(反復練習) ・電話応対練習
		(学・人) ビジネス活動に関連するPC操作の技術を身につけ活用する態度を養うことができる。	(主学) ビジネス活動に関連するPC操作の技術を身につけ活用する態度を養うことができる。	・情報機器の活用 ・アプリケーションソフトの活用	・コンピュータを活用した業務について ・検定の模擬問題の反復練習 ・10分間計測し、入力を行う(反復練習)
2学期	14	(知・技) ビジネスにおける必要なマナーを学ぶことができる。PC操作に関する発展的な技術を学ぶことができる。	(知・技) ビジネスにおける必要なマナーを学ぶことができる。PC操作に関する発展的な技術を学ぶことができる。	・情報機器の活用 ・ビジネスとコミュニケーション ・接客のマナー ・名刺について	・文書デザインの操作方法を学ぶ ・ビジネスにおける信頼関係の意義と重要性を学ぶ ・接客のマナーを学び互いに練習する ・名刺の作成・交換演習
		(思判表力) ビジネスマナーについて、電話応対・名刺交換・メール対応など、場面に応じた事柄について考え、適切に表現することができる。PC操作について、目的によって考え使い分けができる。	(思・判・表) ビジネスマナーについて、電話応対・名刺交換・メール対応など、場面に応じた事柄について考え、適切に表現することができる。PC操作について、目的によって考え使い分けができる。	・ビジネスメール ・情報デザイン ・社内報の作成 ・季節の手紙	・オフィス365・アウトLOOK活用 ・iPadアプリを活用 ・
		(学・人) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱い積極的に活用することができる。	(主学) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱い積極的に活用することができる。	・情報機器の活用 ・アプリケーションソフトの活用	・ワード・エクセルを利用して文章入力・計算などを学び、活用しようとする
3学期	8	(学・人) これまでの学習を参考に、ビジネス文書作成に取り組む。	(主学) これまでの学習を参考に、ビジネス文書作成に取り組むことができる。	・ビジネス文書	・ワードソフトで文書作成
		(思判表力) これまでの学習を振り返り職業生活について他者との協働により考えを深める学習ができる。	(思・判・表) 職業生活について他者との協働により考えを深める学習ができる。	・学習の振り返り	・一年間の学習について振り返り、皆で話し合う ・PCを活用してまとめることができる
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 1 年 農業（農園芸） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
105	1 学年 9・10 組		プリント教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 農園芸に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 農園芸に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	毎時	(知及技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付けを理解し、職業生活に必要な生活能力を身に付ける。 (思判表力) ・作業や実習において、自分の成長や課題について考え表現する。(職業)	(知・技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付けを理解し、職業生活に必要な生活能力について身に付けている。 (思・判・表) ・作業や実習において、自分の成長や課題について考え表現している。	職業生活について	作業前ミーティング ・身なり及び健康状態の自己申告 ・作業の心得復唱 ・作業確認 (使用道具・手順・場所) メモ帳記入 ・今日の目標、作業内容
1 学期	39	(知及技) ・春夏野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付ける。 (思判表力) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善できる。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用することができる。 (学・人) ・栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	(知・技) ・春夏野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善しようとしている。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用している。 (主学) ・栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	春夏野菜の栽培 オクラ エダマメ 草花の栽培 マリーゴールド ヒマワリ 販売 野菜、草花	栽培管理 春夏野菜、草花 ・播種 ・土作り ・育苗(鉢上げ・施肥・灌水) ・マルチシート張り ・定植 ・防虫ネット張り ・肥培管理、除草 ・収穫、調整、販売 地域視察 メモ帳記入
		(知及技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付ける。 (思判表力) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働できる態度を養う。	(知・技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働しようとしている。	植栽 芝生の管理 樹木の管理	除草 芝生管理 樹木剪定
2 学期	42	(知及技) ・秋冬野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を学ぶ。 (思判表力) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善できる。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用する方法を学ぶ。 (学・人) ・栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	(知及技) ・秋冬野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善しようとしている。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用している。 (主学) 栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	春夏野菜の栽培 キャベツ 草花の栽培 コスモス ペゴニア 販売 野菜、草花	栽培管理 秋冬野菜、草花 ・播種 ・土作り ・育苗(鉢上げ・施肥・灌水) ・マルチシート張り ・定植 ・防虫ネット張り ・肥培管理、除草 ・収穫、調整、販売 地域視察 メモ帳記入 ・できたこと・改善点
		(知及技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付ける。 (思判表力) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働することができる。(職業)	(知・技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働しようとしている。	植栽 芝生の管理 樹木の管理	除草 芝生管理 樹木剪定
3 学期	24	(知及技) ・春夏野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付ける。 (思判表力) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善できる。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用することができる。 (学・人) ・栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・春夏野菜、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・野菜、草花を栽培を通して、就労に必要な力(課題)を発見し、改善しようとしている。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に使用している。 (主学) ・栽培管理・販売について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	春夏野菜の栽培 とうもろこし 草花の栽培 マリーゴールド ペゴニア 販売 野菜、草花	栽培管理 春夏野菜、草花 ・播種 ・土作り ・育苗(鉢上げ・施肥・灌水) ・マルチシート張り ・定植 ・防虫ネット張り ・肥培管理、除草 ・収穫、調整、販売 地域視察 日誌記入
		(知及技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付ける。 (思判表力) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働することができる。	(知・技) ・植栽について理解するとともに、管理に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・作業上の安全や作業の効率について工夫し、他者と協働しようとしている。	植栽 芝生の管理 樹木の管理	除草 芝生管理 樹木剪定
留意点 引継ぎ等		単元・題材の目標や評価において、1 学年は、「基礎基本」を前提に目標設定する。2・3 学年の目標にステップアップできるように配慮する。			

令和 6 年度 2 学年 農業(農園芸) 年間指導計画

配当 時数	生徒		教科書／副教材
105	2 学年 9・10 組		プリント教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		(知及技) 農園芸に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 農園芸に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な心豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	毎時	(知及技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付け等将来の職業生活に係る技術を理解する。(職業) (思判表力) ・作業において、自分の成長や課題について考え表現する。(職業)	(知・技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付け等将来の職業生活に係る技術を理解している。 (思・判・表) ・作業において、自分の成長や課題について考え表現している。	職業生活	作業前ミーティング ・身なり及び健康状態の自己申告 ・仕事の心得復唱 ・仕事確認(使用道具、手順等) 日誌記入 ・今日の目標、月目標 ・日誌での振り返り
1 学期	39	(知及技) ・野菜(果菜類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解する。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等に気づき、表現する。 (学・人) ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。 ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的に取り組む。	(知・技) ・野菜(果菜類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解している。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等に気づき、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。 (主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的に取り組んでいる。	野菜(果菜類)の種類と特徴 ・ナス ・ピーマン 草花の種類と特徴 ・トレニア ・マツバボタン ・コリウス 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全	栽培管理 野菜 ・施肥、灌水 ・支柱立て、誘引 ・中耕、除草 ・収穫、調整、販売 草花 ・播種、株分け ・さし芽 ・育苗(鉢上げ・施肥・灌水) ・プランター・丸鉢作り 日誌記入
		(知及技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全について考え、改善を図る。(職業)	(知・技) 植栽について理解し、管理に係る技術を身に付けている。 (主学) 作業上の安全について考え、改善を図っている。	植栽 ・芝生管理 ・樹木の管理	芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機 樹木剪定 花壇整備
2 学期	39	(知及技) ・野菜(葉菜類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解する。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現する。 (学・人) ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。 ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・野菜(葉菜類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解している。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。 (主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	野菜(葉菜類)の種類と特徴 ・キャベツ ・レタス 草花の種類と特徴 ・ビオラ ・ペゴニア ・フロックス ・ガザニア 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全	栽培管理 野菜 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・マルチシート張り ・定植、中耕、除草 ・収穫、調整、販売 草花 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・プランター作り ・装飾計画 日誌記入
		(知及技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全や作業の効率について考え、改善を図る。(職業)	(知・技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付けている。 (主学) ・作業上の安全や作業の効率について考え、改善を図っている。	植栽 芝生の造成	芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機 花壇整備
	3	(知及技) ・地域の活用について理解し、表現する。	(知・技) ・地域の活用について理解し、表現している。	地域資源を活かした農業・地域連携	地域視察 ワークシート
3 学期	24	(知及技) ・野菜(根菜類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現する。 (学・人) ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。 ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・野菜(根菜類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。 (主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	野菜(根菜類)の種類と特徴 ・ジャガイモ 時期作準備 ・ナス ・ピーマン 草花の生産と役割 ・儀式装飾 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全	栽培管理 野菜 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・定植、中耕、除草 草花 ・灌水、施肥 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・装飾実施 ・草花手入れ(整枝) 日誌記入
		(知及技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全や作業の効率について考え、改善を図る。(職業)	(知・技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付けている。 (主学) ・作業上の安全や作業の効率について考え、改善を図っている。	植栽 芝生の造成	芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機 花壇整備
留意点 引継ぎ等		評価は、行動観察、日誌記入、ミニテストで行う。			

令和 5 年度 3 学年 農業(農園芸) 年間指導計画

配当 時数	生徒		教科書／副教材
105	3 学年 9・10 組		プリント教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		(知及技) 農園芸に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 農園芸に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な心豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	毎 時	(知及技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付け等将来の職業生活に係る技術を身に付ける。(職業) (思判表力) ・作業において、適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現する。(職業)	(知・技) ・農園芸作業に適した身支度、準備片付け等将来の職業生活に係る技術を身に付けている。 (思・判・表) ・作業において、適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え表現している。	職業生活	作業前ミーティング ・身なり、健康状態の自己申告 ・仕事確認(使用道具、手順等) 日誌記入 ・今日の目標、月目標 ・日誌での振り返り
1 学 期	39	(知及技) ・野菜(豆類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現する。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。(学・人) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的・協働的に取り組む。 ・課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し表現する。	(知・技) ・野菜(果菜類)、草花の栽培について理解し、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題等を発見し、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。(主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し表現している。	野菜(豆類)の種類と特徴 ・インゲン ・エダマメ 草花の種類と特徴 ・観葉植物 ・多肉植物 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全 農業生産の計画と 工程管理・評価	栽培管理 野菜 ・施肥、灌水、防虫 ・支柱立て、誘引 ・中耕、除草 ・収穫、調整、販売 草花 ・株分け、さし芽 ・育苗 (鉢上げ・施肥・灌水・防虫) ・寄せ植え 日誌記入 栽培記録作成
		(知及技) ・植栽について理解し、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。(職業)	(知・技) 植栽について理解し、管理に係る技術を身に付けている。(主学) 作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図っている。	植栽 ・芝生管理 ・樹木の管理	除草 芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機 樹木剪定
2 学 期	39	(知及技) ・野菜(葉・豆類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題を発見し、表現する。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。(学・人) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的・協働的に取り組む。 ・課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し表現する。	(知・技) ・野菜(葉・根菜類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題を発見し、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。(主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し表現している。	野菜(葉・豆類)の種類と特徴 ・レタス類 ・インゲン 草花の種類と特徴 ・パンジー 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全 農業生産の計画と 工程管理・評価	栽培管理 野菜 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・マルチシート張り ・定植、中耕、除草 ・収穫、調整、販売 草花 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・プランター作り ・装飾計画 日誌記入 観察記録・栽培計画表作成
		(知及技) ・植栽について理解を深め、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。(職業)	(知・技) ・植栽について理解を深め、管理に係る技術を身に付けている。(主学) ・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図っている。	植栽 芝生の造成	除草 芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機
	3	(知及技) ・地域の活用について理解し、表現する。	(知・技) ・地域の活用について理解し、表現している。	地域資源を活かした農業・地域連携	地域視察 ワークシート
3 学 期	24	(知及技) ・野菜(葉・根菜類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付ける。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。(職業) (思判表力) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題を発見し、表現する。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱う。(学・人) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・野菜(葉・根菜類)、草花の栽培について理解するとともに、栽培管理に係る技術を身に付けている。 ・育成する生物等の生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 (思・判・表) ・野菜、草花をよりよく栽培するために必要な課題を発見し、表現している。 ・農具や農業機械の使用目的を知り安全に取り扱えている。(主学) ・栽培管理・販売について学び、野菜・草花の栽培に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	野菜(葉・根菜類)の種類と特徴 ・レタス類 草花の生産と役割 ・生活の中の草花 生産と経営 ・野菜、草花 農業機械と安全	栽培管理 野菜 ・播種 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) ・定植、中耕、除草 ・収穫、調整、販売 ・圃場整備(耕耘) 草花 ・育苗(鉢上げ、施肥、灌水) 日誌記入
		(知及技) ・植栽について理解を深め、管理に係る技術を身に付ける。(学・人) ・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。(職業)	(知・技) ・植栽について理解を深め、管理に係る技術を身に付けている。(主学) ・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働により改善を図っている。	植栽 芝生の造成	除草 芝生管理 ・刈り払い機、芝刈り機
留意点 引継ぎ等		評価は、行動観察、日誌記入、ミニテストで行う。			

配当時 数	生徒		教科書／副教材
70	1学年 9・10組		プリント

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 食品加工における概要、衛生管理、食品の包装、販売等に関する基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るとともに、食品加工の実習に必要なとされる用具や機械等の取扱いや、身支度、実習の準備、後片付け等の技術を習得し、作業態度や意欲等の職業生活に必要な諸生活能力を高める。 （思判表力） 職業人として必要な豊かな人間性を育み、商品の生産（実習）から消費（販売等）に至るまでの流通に関する仕組みを学び、課題を解決するための力を養う。 （学・人） 職業人として身だしなみや接客の仕方について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し主体的かつ協働的に取り組む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う単元	毎時	（知及技） ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の能力について知識を知る。 （思判表力） ・作業や実習において、自分の成長や課題について考え表現する。（職業）	（知・技） ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の技術を習得し、職業生活に必要な諸生活能力を知ることができている。 （思・判・表） ・職業自立に必要な力を意識し、自分の成長や課題について考え表現している。（職業）	食品加工について 働くための力	衛生面や身支度の仕方 ・手洗い、消毒、身支度 ・今日の目標設定（15の力） ・作業確認（学習内容・手順・場所） 日誌記入 ・清掃、片付け ・今日の感想・発表
	8	（知及技） ・食品加工で使用する器具や道具の正しい取り扱いができる。 ・衛生面についての知識を深め、食品加工を行う時、常に心掛け製品を作ることができる。 （学・人） ・衛生面の規則を守り、友達と助け合ったり器具や道具の安全に留意したりすることができる。	（知・技） ・食品加工で使用する器具や道具の正しい取り扱いができている。 ・衛生面についての知識を深め、食品加工を行う時、常に心掛けている。 （主学） ・衛生面の規則を守り、友達と助け合ったり器具や道具の安全に留意したりすることができる。	食品衛生について 食品加工で使用する器具・道具	食品衛生とは ・衛生管理DVD 食中毒について ・食中毒の種類 ・食中毒の予防 菓子製造で使用する器具や道具 ・泡立て器、計量器、ボウル ・計量カップ、ゴムべら等
	19	（知及技） ・喫茶に関する接客マナーの知識を身につける。 （思判表力） ・接客や応対に対する課題を見つけ、解決のために友達と考えることができる。 （学・人） ・職業人としての身だしなみや接客の仕方を守り、友達のよさを認め合ったり助け合ったりすることができる。	（知・技） ・喫茶に関する接客マナーの知識を身につけている。 （思・判・表） ・接客や応対に対する課題を見つけ、解決のために友達と考えることができる。 （主学） ・職業人としての身だしなみや接客の仕方を守り、友達のよさを認め合ったり助け合ったりすることができる。	接客マナー	・身だしなみを整える。 ・はじめの挨拶 ・姿勢 ・トレーの練習 ・お客様から注文をとる ・配膳 ・会計 ・お客様に挨拶 ・下膳 ・終わりの挨拶
	43	（知及技） ・基礎・基本的な食品加工の特徴や種類について理解する。 （思判表力） ・食品加工品の製造について必要な課題を見つけ、その解決のために友達と考えたりすることができる。 （学・人） ・食品加工を通して、友達と助け合い安全に気をつけ、主体的かつ協働的に取り組む。	（知及技） ・調理実験等を通して、食品加工の特徴や種類について理解している。 （思・判・表） ・食品加工品を生産するために、よりよい製品を作ることを心掛けている。 （主学） 食品加工を通して、安全に気をつけながら、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	食品加工の特徴 食品加工の種類	食品加工の特徴（調理実験） ・たんぱく質の抽出 ・たまごの乳化性等 食品加工の種類（菓子製造） ・クッキー（型抜き、アイスボックス等） ・スノーボール、マフィン等
留意点 引継ぎ等	・衛生面や安全面に注意する。				

令和 6 年度 2年 農業（食品加工） 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
140	2学年 9・10組		プリント

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 食品加工における概要、衛生管理、食品の包装、販売等に関する基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るとともに、食品加工の実習に必要なとされる用具や機械等の取扱いや、身支度、実習の準備、後片付け等の技術を習得し、作業態度や意欲等の職業生活に必要な諸生活能力を高める。 （思判表力） 職業人として必要な豊かな人間性を育み、商品の生産（実習）から消費（販売等）に至るまでの流通に関する仕組みを学び、課題を解決するための力を養う。 （学・人） 職業人として身だしなみや接客の仕方について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し主体的かつ協働的に取り組む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う単元	毎時	（知及技） ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の能力を身につける。 （思判表力） ・作業や実習において、自分の成長や課題について考え表現する。（職業）	（知・技） ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の技術を習得し、職業生活に必要な諸生活能力について身につけている。 （思・判・表） ・職業自立に必要な力を意識し、自分の成長や課題について考え表現している。（職業）	食品加工について 働くための力	衛生・身支度 ・手洗い、消毒、身支度 ・今日の目標設定（15の力） ・作業確認（学習内容・手順・場所） 日誌記入 ・清掃、片付け ・今日の感想・発表
	90	（知及技） ・基本的な食品加工の特徴や種類についてや食品の管理について知る。 ・食品加工で使用する用具や機械の使用目的を知る。 （思判表力） ・食品加工品の製造について、よりよい製品を作るために課題を見つけ、その解決のために仲間と考えたり表現したりすることができる。 （学・人） ・基本的な食品の管理について自ら学び、食品加工について仲間と協力かつ自主的に取り組む。	（知・技） ・基本的な食品加工の特徴や種類についてや食品の管理について知っている。 ・食品加工に関する使用する用具や機械の使用目的を知っている。 （思・判・表） ・食品加工品の製造について、よりよい製品を作るために課題を見つけ、その解決のために仲間と考えたり表現したりすることができる。 （主学） ・基本的な食品の管理について自ら学び、食品加工について仲間と協力かつ自主的に取り組んでいる。	食品加工の特徴や種類 商品管理	菓子製造 ・マフィン、スコーン ・クッキー、スノーボール パン製造 ・まるパン、バジルパン ・クリームパン、チョコパン ・あんパン、カレーパン ・くるみパン、レーズンパン ・あげパン ・バジルベーコンチーズマヨパン等 商品の包装・ラベル作成等 ・ipadで各自ラベルのデザインを考える。包装の仕方なども工夫する。
	12	（知及技） ・流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術について理解する。 （思判表力） ・流通やサービス業に求められる接客や応対に対する課題を見つけ、解決のために友達と考えたり表現したりすることができる。 （学・人） ・職業人としての身だしなみや接客の仕方について仲間と協力かつ自主的に取り組む。	（知・技） ・流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術について理解している。 （思・判・表） ・流通やサービス業に求められる接客や応対に対する課題を見つけ、解決のために友達と考えたり表現したりすることができる。 （主学） ・職業人としての身だしなみや接客の仕方について仲間と協力かつ自主的に取り組んでいる。	流通やサービス	・ipadでお互いの接客を撮影し、チェックする。 校内販売学習 ・挨拶、接客、製造、販売 実際に校内の販売を通して接客や商品陳列、会計等について学ぶ。
	38	（知及技） ・身近な地域の企業について関心をもち、地域にはどのような食品が販売しているかを理解することができる。 （思判表力） ・地域資源の有効活用について、自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、他者と考えたり他者に伝えたりすることができる。 （学・人） ・地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組む。	（知及技） ・身近な地域の企業について関心をもち、地域にはどのような食品が販売しているかを調査することができる。 （思・判・表） ・地域資源の有効活用について、自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、他者と考えたり他者に伝えたりすることができる。 （主学） ・地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	地域の食品について 地域資源を生かした食品	・地域の農産物を使い、食品加工する。
留意点 引継ぎ等		・衛生面や安全面に注意する。			

令和 6 年度 3年 農業（食品加工） 年間指導計画

配当時 数	生徒		教科書／副教材
140	3 学年 9・10 組		プリント

目標：(知及技)知識及び技能	(思・判・表)思考力・判断力・表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能	(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 食品加工における概要、衛生管理、食品の包装、販売等に関する基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るとともに、食品加工の実習に必要とされる用具や機械等の取扱いや、身支度、実習の準備、後片付け等の技術を習得し、作業態度や意欲等の職業生活に必要な諸生活能力を高める。 (思判表力) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、商品の生産（実習）から消費（販売等）に至るまでの流通に関する仕組みを学び、課題を解決するための力を養う。 (学・人) 職業人として身だしなみや接客の仕方について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し主体的かつ協働的に取り組む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	毎時	(知及技) ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の能力について知識及び技能を身につける。 (思判表力) ・作業や実習において、自分の成長や課題について考え表現する。(職業)	(知・技) ・食品加工に適した衛生面や身支度、準備片付け等の技術を習得し、職業生活に必要な諸生活能力について知識及び技能を身につけている。 (思・判・表) ・職業自立に必要な力を意識し、自分の成長や課題について考え表現している。(職業)	食品加工について 働くための力	衛生・身支度 ・手洗い、消毒、身支度 ・今日の目標設定（15の力） ・作業確認 （学習内容・手順・場所） 日誌記入 ・清掃、片付け ・今日の感想・発表
年間を通して行う単元	92	(知及技) ・食品加工の特徴や種類についてや加工を行う上での食品の管理について理解する。 ・食品加工で使用する用具や機械の使用目的を理解する。 (思判表力) ・食品加工品の製造について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、他者と考えたり他者に伝えたりすることができる。 (学・人) ・食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・食品加工の特徴や種類についてや食品の管理について理解している。 ・食品加工に関わる使用する用具や機械の使用目的を理解している。 (思・判・表) ・食品加工品の製造について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、他者と考えたり他者に伝えたりすることができる。 (主学) 食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	食品加工のの特徴や種類 商品管理	菓子製造（ケーキ類） ・パウンドケーキ ・スポンジケーキ ・シフォンケーキ パン製造 ・ごぼうサラダパン ・ポテトサラダパン ・エッグウィンナーパン ・ウィンナーロールパン ・ベーコンチーズパン ・エッグペーコンパン ・UF0パン、ツナマヨパン ・胚芽パン 等 商品の保管・ラベル作成等 ・ipadで各自ラベルのデザインを考える。 商品の包装・計量 ・計量して袋詰め等
	24	(知及技) ・流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術について習得する。 (思判表力) ・流通やサービス業に求められる接客や応対に対する課題を見つけ、工夫したり他者に伝えたりすることができる。 (学・人) ・職業人としての身だしなみや接客の仕方について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、協働的に取り組む。	(知・技) ・流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術について習得している。 (思・判・表) ・流通やサービス業に求められる接客や応対に対する課題を見つけ、工夫したり他者に伝えたりすることができる。 (主学) ・職業人としての身だしなみや接客の仕方について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、協働的に取り組んでいる。	流通・サービス	沖縄県特別支援学校技能検定 接客部門（喫茶サービス部門）やアビリンピック出場に向けて練習。 ・ipadでお互いの接客を撮影し、チェックする。 校外での販売学習及びカフェ ・挨拶、接客、製造、販売 実際の販売を通して接客や商品陳列、会計等について学ぶ。 ・校外販売学習先での販売見学等 販売学習でのチラシ作成 ・PCやipadで各自チラシのデザインを考える。
	24	(知及技) ・身近な地域について理解するとともに、地域の食品に関心を持ち調べることができる。 (思判表力) ・地域資源の有効活用について、友達と考えたり発表したりすることができる。 (学・人) ・地域資源を発見したり、活用したりするための活動に仲間と協力かつ自主的に取り組む。	(知・技) ・身近な地域について理解するとともに、地域の食品に関心もち、調べることができる。 (思・判・表) ・地域資源の有効活用について、友達と考えたり発表したりすることができる。 (主学) ・地域資源を発見したり、活用したりするための活動に仲間と協力かつ自主的に取り組んでいる。	地域の食品について 地域資源を生かした食品	地域の食品加工品の調べ学習 ・各グループで地域の特産品についてipadを使って調べて、友達と考える。 ・地域製品の実物見学と視察 地域の農産物で食品開発 ・地域の農産物を使い（栽培）、食品加工する。 ・グループでどのような食品開発ができるか話し合う。
留意点 引継ぎ等		・衛生面や安全面に注意する。			

令和6年度 1 学年 特別活動 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	1 年 9 組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動（１）ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動（２）オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守る方法をわかっている。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き 遠足 新入生歓迎球技大会 火災避難訓練	・自己紹介 ・ホームルーム役員、委員を決める ・遠足 ・新入生歓迎球技大会（選手決め） ・火災避難訓練
2 学期	14	ホームルーム活動（３）ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 ホームルーム活動（２）エ ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようすることができる。 学校行事（４） ・勤労の貴さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験を得ることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。心や体に関して正しく理解している。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。心や体に関して、適切な行動をとっている。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。	学園祭 社会見学 性教育講話 安全教育講話 就業体験	・学園祭（話し合い） ・社会見学 ・性教育講話 ・安全教育講話 ・就業体験
3 学期	8	ホームルーム活動（２）ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 学校行事（４） ・ともに助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることことができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いのよさや可能性を発揮している。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることできている。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことできている。	3年生を送る会 ワックス作業 特別支援教育講話	・3年生を送る会（話し合い、出し物練習） ・ワックス作業 ・特別支援教育講話
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 1 学年 特別活動 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
35	1 年10組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動（１）ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動（２）オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守る方法をわかっている。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き 遠足 新入生歓迎球技大会 火災避難訓練	- 自己紹介 - ホームルーム役員、委員を決める - 遠足 - 新入生歓迎球技大会（選手決め） - 火災避難訓練
2 学期	14	ホームルーム活動（３）ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 ホームルーム活動（２）エ ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとすることができる。 学校行事（４） ・勤労の貴さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験を得ることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。心や体に関して正しく理解している。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。心や体に関して、適切な行動をとっている。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。	学園祭 社会見学 性教育講話 安全教育講話 就業体験	- 学園祭（話し合い） - 社会見学 - 性教育講話 - 安全教育講話 - 就業体験
3 学期	8	ホームルーム活動（２）ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 学校行事（４） ・ともに助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いのよさや可能性を発揮している。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	3年生を送る会 ワックス作業 特別支援教育講話	3年生を送る会（話し合い、出し物練習） - ワックス作業 - 特別支援教育講話
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 2年 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	2年9組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動(1)ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動(2)オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守る方法をわかっている。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き 新入生歓迎球技大会 火災避難訓練	・自己紹介 ・ホームルーム役員、委員を決める ・新入生歓迎球技大会(選手決め) ・火災避難訓練
2 学期	14	ホームルーム活動(2)ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 学校行事(4) ・平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いのよさや可能性を發揮している。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることのできている。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことのできている。	学園祭 修学旅行 性教育講話	・学園祭(話し合い) ・修学旅行(話し合い) ・性教育講話
3 学期	8	ホームルーム活動(3)ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 ホームルーム活動(2)エ ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようすることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。心や体に関して正しく理解している。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。心や体に関して、適切な行動をとっている。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。	3年生を送る会 特別支援教育講話	3年生を送る会(話し合い、出し物練習) 特別支援教育講話
合計	35				
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 2年 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	2年10組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動（１）ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動（２）オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守る方法をわかつている。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き 新入生歓迎球技大会 火災避難訓練	・自己紹介 ・ホームルーム役員、委員を決める ・新入生歓迎球技大会（選手決め） ・火災避難訓練
2 学期	14	ホームルーム活動（２）ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 学校行事（４） ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	「より良い生活築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いのよさや可能性を発揮している。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることのできている。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことのできている。	学園祭 修学旅行 性教育講話	・学園祭（話し合い） ・修学旅行（話し合い） ・性教育講話
3 学期	8	ホームルーム活動（３）ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 ホームルーム活動（２）エ ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようすることができる。	「より良い生活築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。心や体に関して正しく理解している。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。心や体に関して、適切な行動をとっている。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。	3年生を送る会 特別支援教育講話	3年生を送る会（話し合い、出し物練習） 特別支援教育講話
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 3年 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	3年9組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動(1)ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動(2)オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き 遠足 新入生歓迎球技大会 就業体験 火災避難訓練	・自己紹介 ・ホームルーム役員、委員を決める ・遠足(レク等の話し合い) ・新入生歓迎球技大会(選手決め) ・就業体験の確認 ・火災避難訓練
2 学期	14	ホームルーム活動(2)ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。 学校行事(4) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。 学校行事(5) ・勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験を得ることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いの良さや可能性を発揮している。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。 卒業後の進路の選択決定と将来設計に目標をもって取り組んでいる。	学園祭 性教育講話 就業体験	・学園祭(話し合い) ・性教育講話 ・就業体験の確認
3 学期	8	ホームルーム活動(3)ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 学校行事(1) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の準備をすることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。卒業式の意義及び式典で必要となる行動を理解している。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 役割を自覚しながら仕事を分担して、協力しながら活動している。 「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養おうとしている。	マナー学習 校内美化活動 卒業式	・マナー学習(テーブルマナー、身だしなみ等) ・ワックス清掃 ・卒業式の練習
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 3年 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒		教科書／副教材
35	3年10組		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	ホームルーム活動(1)ア ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 ホームルーム活動(2)オ ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、実践することができる。節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することができる。	学級開き ホームルーム役員決め 遠足 新入生歓迎球技大会 就業体験 火災避難訓練 グループエンカウンター (自己理解、他者理解、関係づくり)	・学級運営や約束事などの確認 ・学級目標決め、個人目標決め ・ホームルーム役員、委員を決める ・遠足(レク等の話し合い) ・新入生歓迎球技大会(選手決め) ・就業体験の確認 ・火災避難訓練 ・良いとこ探し ・ブラインドデート
2 学期	14	ホームルーム活動(2)ア ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。 学校行事(4) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。 学校行事(5) ・勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験を得ることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 自他の個性を理解し、尊重している。平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しんでいる。「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 互いの良さや可能性を発揮している。よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。卒業後の進路の選択決定と将来設計に目標をもって取り組んでいる。	学園祭 性教育講話 就業体験 クラスレク SNSとの付き合い方	・学園祭(話し合い) ・性教育講話 ・就業体験の確認 ・クラスレクの計画、実施 ・SNSを使用する際のリスクや対策について話し合う
3 学期	8	ホームルーム活動(3)ウ ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 学校行事(1) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の準備をすることができる。	「より良い生活を築くための知識・技能」 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解している。卒業式の意義及び式典で必要となる行動を理解している。「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 役割を自覚しながら仕事を分担して、協力しながら活動している。「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 社会の一員としての自覚や責任をもっている。集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養おうとしている。	マナー学習 校内美化活動 お別れ会 卒業式に向けて 卒業式	・マナー学習(テーブルマナー、身だしなみ等) ・ワックス清掃 ・クラスお別れ会の計画、準備、実施 ・クラスメイトや後輩、保護者、お世話になった先生方にお礼の手紙を書く ・卒業式の練習
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 全学年 職業 年間指導計画

配当時数	生徒		教科書／副教材
105	1 ～ 3 年		なし/ プリント等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力, 判断力, 表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して単元	毎時	(知及技) ・職業に必要な挨拶や身だしなみ、15の力などの理解を深める。 (思判表力) ・将来の職業生活について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり他者に伝えたりすることができる。 ・安全性や衛生及び作業の効率について考え、他者と協働により改善を図る。 (学・人) ・学校、職場におけるマナーや良好な人間関係に必要なことを体得し、主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・職業に必要な挨拶や身だしなみ、15の力などの理解をしている。 (思・判・表) ・将来の職業生活について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり他者に伝えたりすることができる。 ・安全性や衛生及び作業の効率について考え、クラスメイトと協働して改善を図ることができる。 (主学) ・学校、職場におけるマナーや良好な人間関係に必要なことを体得し、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	あいさつ唱和 15の力 清掃活動 職場でのマナー	あいさつの練習 ・毎時、お客様によく使う挨拶や職場によく使う挨拶などを練習 15の力を意識 ・15の力を意識して全ての学級・教科と連携を図る。 HR教室等の清掃 身だしなみや対人関係 ・身だしなみチェック ・コミュニケーション能力
	24	(知及技) ・勤労の意義について理解を深めようすることができる。 (思判表力) ・将来の職業生活に必要な力を意識し、自分の成長や課題を見つめ解決策を考え、実践を評価し、表現する。 (学・人) ・作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。	(知・技) ・勤労の意義について理解を深めようとしている。 (思・判・表) ・将来の職業生活に必要な力を意識し、自分の成長や課題を見つめ解決策を考え、実践を評価し、表現している。 (主学) ・作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組んでいる。	1年間の進路目標を立てよう メモの使い方	未来宣言(キャリアポート) ・1年の始めは、進路に関する目標や仕事、夢などを一人ずつ発表する。 ・1年の終わりは、成果を一人ずつ発表する。 メモの書き方やポイントを説明 ・すべての教科でメモを取ることを促す
	42	(知・技) ・実習の事前・事後についてどのような知識が必要かを知ることができる。 (思・判・表) ・実習に行く前に場所を確認し、交通機関を調べ、そのための方法を考え他者に伝えることができる。 (主・学) ・自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたり他者に伝えることができる。	(知・技) ・実習の事前・事後についてどのような知識が必要かを知ることができる。 (思・判・表) ・実習に行く前に場所を確認し、交通機関を調べ、そのための方法を考え他者に伝えることができる。 (主学) ・自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたり他者に伝えることができる。	就業体験事前挨拶 交通機関調べ 就業体験決意表明・報告会	就業体験事前挨拶の記入 ・一人ずつ前で発表 ・身だしなみや打ち合わせの仕方 実習前に出勤簿を配布提出 ・数学と社会と連携 ・通勤練習 事前事後学習と連携 ・一人ずつ発表の練習
	39	(知及技) ・卒業後の進路に必要となることについて理解を深める。 (思判表力) ・就職に向けて、必要な事柄を見いだして課題を発見し、解決策を考え、考えたことを表現する。 (学・人) ・将来の職業生活に向けて、就職を支援する関係機関や雇用の手続きなど必要なことを習得し、主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) ・卒業後の進路に必要となることについて理解を深めている。 (思・判・表) ・就職に向けて、必要な事柄を見いだして課題を発見し、解決策を考え、考えたことを表現している。 (主学) ・将来の職業生活に向けて、就職を支援する関係機関や雇用の手続きなど必要なことを習得し、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	進路を考える 実習先の見つけ方 ハローワークとは 雇用までの流れ	進路選択 ・進路には、いろいろな選択があることが分かる。 就職に向けて、実習先を見つける ・自己分析や自己理解 ・職種を選び方 ・事業所を希望する 就職を支援する関係機関 ・ハローワーク(公共職業安定所)の役割や活用方法 ・3年施設見学(ハローワーク) ・求人票の見方 雇用の手続 ・3年生になるとどのような流れか確認する。
留意点 引継ぎ等		・すべての学級・教科と連携を図る。			

令和6年度 総合的な探究の時間 年間指導計画

配当 時数	生徒		教科書／副教材
120	1～3学年		なし/プリント等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 (知及技) 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活との自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。				
	学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名
1・2 学期 就業 体験	18	(知及技) ・ 勤労の意義について理解を深める。 (思判表力) ・ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える。 ・ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え表現する。 (学・人) ・ より高い目標を設定し、その達成を目指す。	(知・技) ・ 勤労の意義について理解を深めている。 (思・判・表) ・ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えている。 ・ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え表現している。 (主学) ・ より高い目標を設定し、その達成を目指している。	就業体験 事前学習	(1～3学年) ・ 講話「実習の心構え」 ・ 電話対応の練習 ・ 決意表明 ・ 15の力確認 (1年) ・ 校内実習の説明、実習内容確認 (2・3年) ・ 実施要項読み合わせ ・ 実習先情報の確認 ・ 前回の実習との比較・考察
	80	(知及技) ・ 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技術を身に付けることができる。 ・ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとることができる。 (思判表力) ・ 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者の役割及び他者との協力について考え、表現する。 ・ 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め勤労を通じて表現する。 ・ 日常生活を行うために必要な身体の状態を維持・改善する。 (学・人) ・ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善する。	(知・技) ・ 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技術を身に付けることができる。 ・ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動ができつつある。 (思・判・表) ・ 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者の役割及び他者との協力について考え、表現している。 ・ 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め勤労を通じて表現している。 ・ 日常生活を行うために必要な身体の状態を維持・改善しようとしている。 (主学) ・ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとしている。	就業体験 「現場実習等における実習」	(1～3学年) ・ それぞれの実習先へ出勤
	6	(思判表力) ・ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え表現する。 (学・人) ・ 自己を見つめ、自己の向上に取り組むことができる。	(思・判・表) ・ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え表現している。 (主学) ・ 自己を見つめ、自己の向上に取り組もうとしている。	自己の振り返り 及び他者評価	(1～3学年) 日誌記入 事業所からのコメント等
	8	(知及技) ・ 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。 (思判表力) ・ 産業現場等における実習での実践を評価・改善し、表現する。	(知・技) ・ 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとしている。 (思・判・表) ・ 産業現場等における実習での実践を評価・改善し、表現しようとしている。	就業体験 事後学習	(1～3学年) ・ 実習後自己評価 ・ 報告会の原稿作成及び発表練習 ・ レポート作成 ・ お礼状作成
	8	(思判表力) ・ 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現する。 (学・人) ・ 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、いろいろな考え方があることを理解し、改善することができる。	(思・判・表) ・ 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現しようとしている。 (主学) ・ 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、いろいろな考え方があることを理解し、改善しようとしている。	就業体験 報告会	(1～3学年) 就業体験報告会 ・ 発表 ・ 発表内容記入 ・ 質疑応答
留意 点 引継					

令和 6 年度 1学年 道徳科 年間指導計画

配当時数	生徒	参考図書
35	1 学年 9・10組	きみがいちばんひかるとき(光村図書) かがやけみらい(学校図書) 新・みんなの道徳(Gakken)
年間目標	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 内容は次の通りとする。 A 主として自分自身に関すること。 B 主として他の人とのかかわりに関すること。 C 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。 D 主として集団や社会とのかかわりに関すること。	

学期	月	主題・内容項目	着目すべき「学びの姿」	教材名
1 学期	4	【夢をかなえるために】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 【節度を守って】 A (3) 節度、節制 【礼さとは】 B (9) 礼儀	・夢や目標を実現するためにどんなことをしているか、自分を見つめている。 ・節度のある生活を送っているか、自分を見つめている。 ・普段の挨拶をどのように行っているか、自分を見つめている。	1 夢を実現するためには 2 流行おくれ 3 あいさつって
	5	【友達を思う心】 B (10) 友情、信頼 【自分の役割を果たす】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【よりよいきまりとは】 C (12) 規則の尊重	・自分は友達とどのように支え合っているかを振り返っている。 ・学校で自分が任されている仕事に、自分はどのように取り組んでいるかを振り返っている。 ・きまりを守ることや、きまりが守られていないことについて、自分はどんな考えをもって いるかを振り返っている。	4 友のしょうぞう画 5 わたしは飼育委員 6 公園のきまりを作ろう
	6	【相手の立場を】 B (11) 相互理解、寛容 【公正・公平な態度とは】 C (13) 公正、公平、社会正義 【親切とは】 B (7) 親切、思いやり 【命の大切さ】 D (19) 生命の尊さ	・相手とわかり合えなかった経験について振り返っている。 ・誰に対しても、どんなときでも、公正・公平な態度を取っているかと、自分を見つめてい る。 ・誰かに親切にするとときに、自分はどんなことを大切にしてきたかと、自分を見つめてい る。 ・命について、これまでの自分はどんな考えをもっていたかを振り返っている。	7 すれちがい 8 どうすればいいのだろう 9 道案内 10 命の詩——電池が切れるま で
	7	【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 【すばらしさを感じる心】 D (21) 感動、畏敬の念	・これまでに自然を大切にしてきたか、自分を見つめている。 ・自分が感動した美しいものやすばらしいものには、どんなものがあるかを振り返ってい る。	11 一ふみ十年 12 宇宙から見えたもの
2 学期	9	【安全に生活するために】 A (3) 節度、節制 【集団の中での役割】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【たがいに高め合いながら】 B (10) 友情、信頼 【一人一人の命のすばらしさ】 D (19) 生命の尊さ	・安全に生活するために、自分はどんなことを大切にしているかを振り返っている。 ・学校での仕事や役割を振り返り、それにどんな姿勢で臨んでいるか、自分を見つめる。 ・友達との関わり方について、これまでの自分を振り返っている。 ・生きていることの不思議さやすばらしさについて、自分がどんな考えをもっているかを振り 返っている。	13 自分の身は自分で守る 14 ケンタの役割 15 ドッジボール対決 16 「同じでちがう」
	10	【公正・公平な社会をみざして】 C (13) 公正、公平、社会正義 【分かり合うために】 B (11) 相互理解、寛容 【感謝の心をもつて】 B (8) 感謝 【責任ある行動とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	・多数ではない立場の人に対してどのような考え方をしていたかと、自分を見つめている。 ・立場や考えが異なる相手に対して、自分はどのような気持ちで接しているかを振り返って いる。 ・自分の生活はどんな人に支えられているかを振り返り、その人にどのような思いをもってい るか、自分を見つめている。 ・普段の生活の中で、自分の行動の影響を考え、それに責任をもとうとしているかと、自分 を見つめている。	17 だれもが幸せになれる社会 を 18 ブランコ乗りとピエロ 19 水がわたる橋——通潤橋 20 いこいの広場
	11	【社会に役立つとは】 C (14) 勤労、公共の精神 【伝統や文化を守るために】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する 態度 【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 【自分らしさを知る】 A (4) 個性の伸長	・ボランティア活動に参加しているか、また、どんな気持ちで取り組んでいるかと、自分を 見つめている。 ・伝統や文化について、自分がどのような意識をもつことができたかを振り返っている。 ・興味が湧いたことを進んで調べたり、追求したりしているかと、自分を見つめている。 ・家族に対してどのような態度で接しているか、自分を見つめている。	21 クール・ボランティア 22 曲げわっぱから伝わるもの 23 真の看護を求めて——ナイ チンゲル 24 「自分らしさ」を見つめよ う
	12	【家族のために】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 【伝統や文化を知る】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する 態度 【他国の人々を理解して】 C (18) 国際理解、国際親善	・自分の国の伝統や文化のよさについて、どんなことを考えているか、自分を振り返ってい る。 ・自分の国の伝統や文化のよさについて、どんなことを考えているか、自分を振り返ってい る。 ・自分の国の文化や習慣と異なるものに会ったとき、自分はどのように感じるかを振り 返っている。	25 祖母のりんご 26 おおきに、ありがとう 27 小さな国際親善大使
3 学期	1	【きまりの意義】 C (12) 規則の尊重 【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 【さまざまな人の立場を考えて】 B (7) 親切、思いやり	・自分の権利を優先して、きまりを破ってしまうことはないかと、自分を見つめている。 ・「自由」について、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 ・「思いやる」ということについて、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。	28 お客さま 29 うばわれた自由 30 マークが伝えるもの
	2	【誠実に生きる】 A (2) 正直、誠実 【精いっぱい生きる】 D (19) 生命の尊さ 【家族に感謝して】 B (8) 感謝	・誠実でいることが大切なのはわかっているのに、そうできなかった経験がないかと、自分 を見つめている。 ・限りある自分の命を生きることに、自分はどのように考えてきたかを振り返ってい る。 ・家族に対して感謝の気持ちをもつことができているか、また、それを表すことができてい るか、自分を見つめている。	31 千羽づる 32 最後のコンサート——チェ ロ奏者・徳永兼一郎 33 おばあちゃんからもらった 命
	3	【くじけないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 【生きる喜び】 D (22) よりよく生きる喜び	・目標に向かってがんばった経験や、くじけてしまった経験について、自分を見つめてい る。 ・自分にとっての生きる喜びとは何かについて、自分を見つめている。	34 世界最強の車いすテニスブ レーヤー——国枝慎吾 35 アンパンマンがくれたもの
留意点		・「きみがいちばんひかるとき」を基にすすめていくが、各学年・学級の生徒実態に応じて内容の入れ替え及び他の教科書及び教材を用いる。 ・併設校との交流学習を行う（【勤労】、【自分らしさ】等） ・適宜、情報モラル・いじめ・自然、よりよく生きる喜びについて、コラム等を用い学習する。		

令和 6 年度 2 学年 道徳科 年間指導計画

配当時数	生徒	参考図書
35	2 学年 9・10 組	きみがいちばんひかるとき(光村図書) かがやけみらい(学校図書) 新・みんなの道徳(Gakken)
年間目標	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 内容は次の通りとする。 A 主として自分自身に関すること。 B 主として他の人とのかわりに関すること。 C 主として自然や崇高なものとのかわりに関すること。 D 主として集団や社会とのかわりに関すること。	

学期	月	主題・内容項目	着目すべき「学びの姿」	教材名
1 学期	4	周りの人 【夢をかなえるために】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 【節度を守って】 A (3) 節度、節制 【礼儀とは】 B (9) 礼儀	・夢や目標をもつことの大切さだけでなく、夢を実現させるためにはさまざまな道筋があることについて考えている。 ・自分の生活の改善すべき点を見つめることの大切さと難しさなどのさまざまな面から、節度ある生活についての考えを広げている。 ・さまざまな状況、また、さまざまな相手に対する挨拶や礼儀を想定して、挨拶や礼儀の意義についての考えを広げている。	1 夢を実現するためには 2 流行おくれ 3 あいさつって
	5	【友達を思う心】 B (10) 友情、信頼 【自分の役割を果たす】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【よりよいきまりとは】 C (12) 規則の尊重	・それぞれの登場人物の姿や友達の考えを基に、友達との関係性について、見方を広げている。 ・自分が果たす役割の重要さや、それが学校をどう支えているのかについて、考えを広げている。 ・それぞれの人にそれぞれの主張や立場がある中で、みんなにとってよいきまりを作ることの大切さや難しさについて考えている。	4 友のしょうぞう画 5 わたしは飼育委員 6 公園のきまりを作ろう
	6	【相手の立場を】 B (11) 相互理解、寛容 【公正・公平な態度とは】 C (13) 公正、公平、社会正義 【親切とは】 B (7) 親切、思いやり 【命の大切さ】 D (19) 生命の尊さ	・すれちがいが起こる原因やその影響などのさまざまな面から、自分と異なる立場の相手を理解しようとするものの大切さについて考えている。 ・さまざまな状況や立場を想定して、どんなときでも公正・公平な態度でいることについて、大切さと難しさの両面から考えている。 ・相手の立場に立って考えることのよさと難しさの両面から、相手のためになる言動を取ることにについて考えている。 ・友達の考えを聞いて、大切な命を精いっぱい生きることについて、さまざまな捉え方があることに気づいている。	7 すれちがい 8 どうすればいいのだろう 9 道案内 10 命の詩——電池が切れるまで
	7	【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 【すばらしさを感じる心】 D (21) 感動、畏敬の念	・登場人物の姿や友達の考えを基に、人の力の及ばない自然のすばらしさや、人と自然の関わり方についての考えを広げている。 ・友達の考えを聞き、人の心をつつ事象や出来事はたくさんあることについて考えている。	11 一ふみ十年 12 宇宙から見たもの
2 学期	9	【安全に生活するために】 A (3) 節度、節制 【集団の中での役割】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【たがいに高め合いながら】 B (10) 友情、信頼 【一人一人の命のすばらしさ】 D (19) 生命の尊さ	・さまざまな状況を想定して、自分の身を自分で守ることについての考えを広げている。 ・集団において自分の役割を果たす際に、大切なことについて、さまざまな面から考えている。 ・1対1の友達関係と集団における友達関係の両方から、互いに協力し高め合う友情について考えている。 ・過去の自分と今の自分や、友達と自分の違いを捉えながら、一人一人がかけがえのない命をもった存在であることについて考えている。	13 自分の身は自分で守る 14 ケンタの役割 15 ドッジボール対決 16 「同じでちがう」
	10	【公正・公平な社会を目指して】 C (13) 公正、公平、社会正義 【分かち合うために】 B (11) 相互理解、寛容 【感謝の心をもって】 B (8) 感謝 【責任ある行動とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	・社会的な差別や偏見が起きる背景や、それを乗り越えることの大切さなどのさまざまな面から、誰にでも公正・公平な社会についての考えを広げている。 ・友達の考えを聞いて、対立する考えの者どうしが相手を理解し、協力していくために大切なことについての考えを広げている。 ・尊敬し感謝する対象はたくさんいることについて、広い視野で考えている。 ・自由に振る舞うことと自分勝手に振る舞うことの違いに目を向け、責任ある行動についての考えを広げている。	17 だれもが幸せになれる社会を 18 ブランコ乗りとピエロ 19 水がわたる橋——通潤橋 20 いこいの広場
	11	【社会に役立つとは】 C (14) 勤労、公共の精神 【伝統や文化を守るために】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 【自分らしさを知る】 A (4) 個性の伸長	・仕事をするものの尊さや満足感、仕事を成し遂げた際の喜びや手応えなどのさまざまな面から、働く意義や社会に奉仕する喜びについて考えを広げている。 ・伝統や文化を受け継ぎ、次の世代へとつないでいくことの+19すばらしさと大変さの両面から、それを守るために必要なことについて考えを広げている。 ・登場人物の姿や友達の考えを基に、探究心をもち続けることのよさや、探究心がもたらすものについて考えを広げている。 ・自分自身をさまざまな観点で見つめ、たくさんの自分らしさに気づいている。	21 クール・ボランティア 22 曲げわっぱから伝わるもの 23 真の看護を求めて——ナイチンゲール 24 「自分らしさ」を見つめよう
	12	【家族のために】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 【伝統や文化を知る】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【他国の人々を理解して】 C (18) 国際理解、国際親善	・家族を大切に思うときと、そう思えなくなってしまうときの両方にふれたうえで、家族と温かい関係性を築くために大切なことについて考えを深めている。 ・受け継がれている自分の国の伝統や文化の価値について、さまざまな視点から考え、自分の見方を広げている。 ・他の国の人々も、自分の国の伝統と文化に愛着や誇りをもって生きていることについて考えている。	25 祖母のりんご 26 おおきに、ありがとう 27 小さな国際親善大使
3 学期	1	【きまりの意義】 C (12) 規則の尊重 【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 【さまざまな人の立場を考えて】 B (7) 親切、思いやり	・きまりが守られなかったときの影響や、きまりがあることのよさなどのさまざまな視点から、きまりの意義についての考えを広げている。 ・本当の意味での自由とはどのようなものかについて、さまざまな角度から考え、見方を広げている。 ・置かれている状況や立場は人によってさまざまであることを踏まえて、思いやりの在り方についての考えを広げている。	28 お客さま 29 うばわれた自由 30 マークが伝えるもの
	2	【誠実に生きる】 A (2) 正直、誠実 【精いっぱい生きる】 D (19) 生命の尊さ 【家族に感謝して】 B (8) 感謝	・誠実にいたいと願うことと、実際に誠実ではいられなくなってしまうことの両面から、誠実に生きるものの大切さと難しさについて考えている。 ・限られた生命を懸命に生きるものの尊さ、生きるものの意義を追い求める高尚さなど、さまざまな側面から命を尊重することについて考えている。 ・友達の考えを聞き、家族やその他の人に対する感謝の気持ちについて考えを深めている。	31 千羽づる 32 最後のコンサート—— 口奏者・徳永兼一郎 33 おばあちゃんからもらった命
	3	【くじけなないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 【生きる喜び】 D (22) よりよく生きる喜び	・希望をもつものの大切さや、希望をもつがゆえに直面する困難を乗り越える人間の強さなど、くじけないために大切なことについて、さまざまな側面から考えている。 ・人の強さと弱さの両面から、誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方についての考えを広げている。	34 世界最強の車いすテニスプレーヤー——国枝慎吾 35 アンパンマンがくれたもの
留意点		・「きみがいちばんひかるとき」を基にすめていくが、各学年・学級の生徒実態に応じて内容の入れ替え及び他の教科書及び教材を用いる。 ・併設校との交流学習を行う（【勤労】、【自分らしさ】等） ・適宜、情報モラル・いじめ・自然、よりよく生きる喜びについて、コラム等を用い学習する。		

令和 6 年度 3 学年 道徳科 年間指導計画

配当時数	生徒		参考図書
35	3 学年 9・10 組		きみがいちばんひかるとき(光村図書) かがやけみらい(学校図書) 新・みんなの道徳(Gakken)
年間目標	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 内容は次の通りとする。 A 主として自分自身に関すること。 B 主として他の人とのかかわりに関すること。 C 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。 D 主として集団や社会とのかかわりに関すること。		

学期	月	主題・内容項目	着目すべき「学びの姿」	教材名
1 学期	4	【夢をかなえるために】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 【節度を守って】 A (3) 節度、節制 【礼さとは】 B (9) 礼儀	・目標を立てることや、目標に向かって具体的に努力することについて考え、それを自分の生活に生かしていこうとしている。 ・節度を守ることが大切だが簡単ではないことを踏まえ、活力のある生活を築くためにどんな心を大切にしていこうかと考えている。 ・気持ちのよい挨拶が周囲に与える影響を踏まえて、そのような挨拶や、礼儀正しい行動ができる自分であるためには、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	1 夢を実現するためには 2 流行おくれ 3 あいさつって
	5	【友達を思う心】 B (10) 友情、信頼 【自分の役割を果たす】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【よりよいきまりとは】 C (12) 規則の尊重	・信頼で結ばれた友達関係を築くために、どんな気持ちで友達と接していきたいかを考えている。 ・クラスや学校という集団を支えているのは自分たち自身であるという自覚を踏まえ、どんな気持ちで自分の役割を果たしていこうかと考えている。 ・きまりの意義を意識したうえで、自分はきまりに対してどう向き合っていこうかと考えている。	4 友のしょうぞう画 5 わたしは飼育委員 6 公園のきまりを作ろう
	6	【相手の立場を】 B (11) 相互理解、寛容 【公正・公平な態度とは】 C (13) 公正、公平、社会正義 【親切とは】 B (7) 親切、思いやり 【命の大切さ】 D (19) 生命の尊さ	・立場や状況の違いを乗り越えて相手を理解し、互いに尊重し合ってよりよい関係を築くために、自分にはどんな心が必要かと考えている。 ・周囲に流されずに公正・公平な態度を取ることにについて考えを深めたうえで、それを自分の生活にどう生かしていけるかと考えている。 ・相手にとって本当に必要な親切をするために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。 ・自分の命を精いっぱい生きるために、自分はどのようにしていこうかと考えている。	7 すれちがい 8 どうすればいいのだろう 9 道案内 10 命の詩——電池が切れるまで
	7	【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 【すばらしさを感じる心】 D (21) 感動、畏敬の念	・自然のすばらしさを意識したうえで、これからの自分はどのように自然と関わっていこうかと考えている。 ・美しいものやすばらしいものを素直に「美しい」「すばらしい」と感じることや、その心を大切にしていこうかと考えている。 ・安全に十分に注意を払い、自分の身を自分で守るためには、どのような意識をもつことが大切かを考えている。	1 1 一心み十年 2 宇宙から見えたもの
2 学期	9	【安全に生活するために】 A (3) 節度、節制 【集団の中での役割】 C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 【たがいに高め合いながら】 B (10) 友情、信頼 【一人一人の命のすばらしさ】 D (19) 生命の尊さ	・安全に十分に注意を払い、自分の身を自分で守るためには、どのような意識をもつことが大切かを考えている。 ・複数の役割が重なった場合に、自分はどうなことを大切にして判断し、行動しようかと考えている。 ・これから、どのようによりよい友達関係をつくっていこうかと考えている。 ・これから自分はどのように命を大切にした生き方をしていこうかと考えている。	1 3 自分の身は自分で守る 4 ケンタの役割 5 ドッジボール対決 6 「同じでちがう」
	10	【公正・公平な社会を目指して】 C (13) 公正、公平、社会正義 【分かり合うために】 B (11) 相互理解、寛容 【感謝の心をもつ】 B (8) 感謝 【責任ある行動とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	・差別や偏見を許さない姿勢の大切さを踏まえて、誰もが幸せになる社会の実現のために、どんな意識をもつことが大切かと考えている。 ・立場や考えが異なるために対立する相手に対して、これから自分はどのように接していこうかと考えている。 ・見えないところで生活を支えてくれている人、過去に力を尽くしてくれた人などに対して、自分はどんな思いをもって生活していこうかと考えている。 ・自分の行動に責任をもつために、どんなことに気をつけて行動すればよいかと考えている。	1 7 だれもが幸せになれる社会を 1 8 プランコ乗りとビエロ 1 9 水がわたる橋——通潤橋 2 0 いこいの広場
	11	【社会に役立つとは】 C (14) 勤労、公共の精神 【伝統や文化を守るために】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 【自分らしさを知る】 A (4) 個性の伸長	・社会のために働くことについて自分なりの考えをもち、自分にはどんなことができるかを考えている。 ・伝統を守っていくことの難しさを踏まえ、伝統の発展のために自分には何ができるかを考えている。 ・探求心をもち続けるために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。 ・自分らしさを伸ばすことについて自分なりの考えをもち、これからどのように自分と向き合っていこうかと考えている。	2 1 クール・ボランティア 2 2 曲げわっぱから伝わるもの 2 3 真の看護を求めて——ナイチンゲール 2 4 「自分らしさ」を見つめよう
	12	【家族のために】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 【伝統や文化を知る】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【他国の人々を理解して】 C (18) 国際理解、国際親善 【くじけないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志	・これから自分は、家族に対してどんな思いをもち、どんなふうに関与していこうかと考えている。 ・自分の国の伝統や文化を受け継いでいくために、自分はどんなことを大切にしていこうかと考えている。 ・他の国への関心や理解を深め、互いを尊重し合うために、自分はどんな心を大切にしたいかを考えている。 ・自分の目標に向かってくじけずに努力するために、どんなことを大切にしていきたいかを考えている。	2 5 祖母のりんご 2 6 おおきに、ありがとう 2 7 小さな国際親善大使 3 3 世界最強の車いすテニスプレイヤー——国枝慎吾
3 学期	1	【きまりの意義】 C (12) 規則の尊重 【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 【さまざまな人の立場を考えて】 B (7) 親切、思いやり 【生きる喜び】 D (22) よりよく生きる喜び	・それぞれの人に権利があることやきまりの意味を意識したうえで、それを自分の生活にどのように生かせるかと考えている。 ・自由と責任の関係性を踏まえて、これから自分はどのように行動していこうかと考えている。 ・相手の状況に合わせた思いやりのある行動を取るためにはどうすればよいかと、考えている。 ・これからも「生きるよろこび」を感じていきたいという気持ちを抱いている。	2 8 お客さま 2 9 うばわれた自由 3 0 マークが伝えるもの 3 5 アンパンマンがくれたもの
	2	【誠実に生きる】 A (2) 正直、誠実 【精いっぱい生きる】 D (19) 生命の尊さ 【家族に感謝して】 B (8) 感謝	・自分自身に誠実であるために、どんな心を大切にすればよいかを考えている。 ・「精いっぱい生きる」ために、自分はどうような考えや行動をするべきかを考えている。 ・自分を支えてくれている人の思いに応えるために、自分には何ができるかを考えている。	3 1 千羽づる 3 2 最後のコンサート——チエロ奏者・徳永兼一郎 3 3 おばあちゃんからもらった命
留意点		・「きみがいちばんひかるとき」を基にすすめていくが、各学年・学級の生徒実態に応じて内容の入れ替え及び他の教科書及び教材を用いる。 ・併設校との交流学習を行う（【勤労】、【自分らしさ】等） ・適宜、情報モラル・いじめ・自然、よりよく生きる喜びについて、コラム等を用い学習する。		